

Windows Admin Center 構築ガイド

2026 年 7 月

日本電気株式会社

第 1.19 版

目次

1	はじめに	4
1.1	表記	4
1.2	商標	4
1.3	本書に関する注意と補足	4
2	事前準備	5
2.1	Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの要件	5
2.2	展開オプションの選択	7
2.3	環境構成イメージ	8
2.4	チェックリスト	9
2.5	構築手順フローチャート	10
2.5.1	新規インストールの場合	10
2.5.2	アップグレードインストールの場合	10
3	Windows Admin Center の構成	11
3.1	管理対象システムの準備	11
3.1.1	Windows Server 2012 及び 2012 R2 の準備	11
3.1.2	Windows Server 2016 HCI クラスターの準備	14
3.1.3	管理対象クライアントの準備	15
3.2	Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの構成	19
3.2.1	Windows Admin Center のダウンロード	19
3.2.2	Windows Admin Center のインストール	23
3.2.3	自己署名 SSL 証明書のエクスポートとインポート（オプション）	29
3.2.4	証明書の更新	42
3.3	管理用クライアントから Windows Admin Center ゲートウェイサーバーへの接続	50
3.3.1	Windows Admin Center へアクセス	50
3.4	管理対象システムの追加	54
3.4.1	単体サーバー	54
3.4.2	サーバー クラスター	58

3.4.3	Windows PC	61
3.5	管理対象サーバー／クラスター／Windows PC への接続	64
3.6	シングルサインオンの設定（オプション）	66
3.6.1	設定方法	66
3.6.2	確認方法	66
4	付録	68
4.1	関連マニュアルのリンク	68
	改版履歴	69

1 はじめに

本書は、Windows Server の新たな管理ツールである Windows Admin Center を Express5800 シリーズ / NX7700x シリーズ上に構築する方法について説明します。

Windows Admin Center は、Azure やクラウドに依存しない、ローカルに展開されたブラウザーベースの管理ツールです。特にインターネットにつながっていないプライベートネットワーク内にあるサーバーの管理に適したツールです。

1.1 表記

本書では 3 種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味を持ちます。

	守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	確認しておかなければならないことについて示します。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示します。

1.2 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、PowerShell および Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。なお、TM、®は明記しておりません。

1.3 本書に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店までご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4 項にかかわらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられている値は、すべてサンプル値です。

2 事前準備

2.1 Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの要件

ゲートウェイサーバーを使った Windows Admin Center の構築には、Windows Admin Center ゲートウェイサーバーとそれにアクセスする管理用クライアントが必要です。

また、サポートされる管理対象サーバーやクライアントも要件を満たしている必要があります。それぞれについて、Windows Admin Center の構築を始める前に以下の要件を満たしているか確認してください。

Windows Admin Center バージョン

本書では以下の Windows Admin Center バージョンを対象とします。

- Windows Admin Center バージョン 2606

Windows Admin Center ゲートウェイ用オペレーティングシステム

Windows Admin Center のゲートウェイサーバーのインストールには、以下のオペレーティングシステムを利用することが可能です。

- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

管理用クライアントのオペレーティングシステム

- Windows 11
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

ブラウザ

- Microsoft Edge (Chromium ベース※)

※ プレビュー版を除く



ブラウザに特有の既知問題を以下のリンクから確認できます。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/manage/windows-admin-center/support/known-issues#browser-specific-issues>

管理対象システム

以下のシステムを Windows Admin Center を使って管理することが可能です。Windows Admin Center でサポートされていないシステムは、引き続き従来のツールを使って管理することになります。

OS バージョン	単体	フェールオーバー クラスター	HCI クラスター
Windows 11	○	—	—
Windows Server 2025	○	○	○
Windows Server 2022	○	○	○
Windows Server 2019	○	○	○
Windows Server 2016	○	○	○
Windows Server 2012 R2	○	○	—
Windows Server 2012	○	○	—

○ : サポート

— : 非該当



Windows Server 2012/2012 R2 は Microsoft 社のサポート期間が終了しているため、推奨しません。

NEC では既存ノウハウで PP サポートは継続対応します。



Windows Server 2016 の HCI クラスターを Windows Admin Center から管理するには、「2018-05 x64 ベース システム用 Windows Server 2016 の累積更新プログラム (KB4103720)」以降の更新プログラムが必要です。最新の累積更新プログラムを適用することを推奨します。

2.2 展開オプションの選択

Windows Admin Center の展開には、用途に合わせて以下 4 つのオプションがあります。展開を始める前に、どの方式を採用するかを決めます。

- ローカルクライアント
 - Windows 端末上に Windows Admin Center をインストールするオプションです。評価や小規模な環境に向いています。



Express5800 シリーズ / NX7700x シリーズではローカルクライアント構成はサポートしていません。

- ゲートウェイサーバー
 - Windows Admin Center 専用のサーバーを用意し、クライアントから Windows Admin Center へアクセスします。大規模な環境向けです。本構築ガイドでは、このゲートウェイサーバーの構築を説明します。
- 管理サーバー
 - 管理されるサーバーの 1 つに、Windows Admin Center をインストールします。そのため、専用サーバーを用意する必要がありません。



ドメインコントローラーに Windows Admin Center をインストールすることはサポートされていません。

- フェールオーバークラスター
 - フェールオーバークラスター上に Windows Admin Center ゲートウェイサーバーを展開することで、Windows Admin Center のゲートウェイサービスを高可用にできます。

2.3 環境構成イメージ

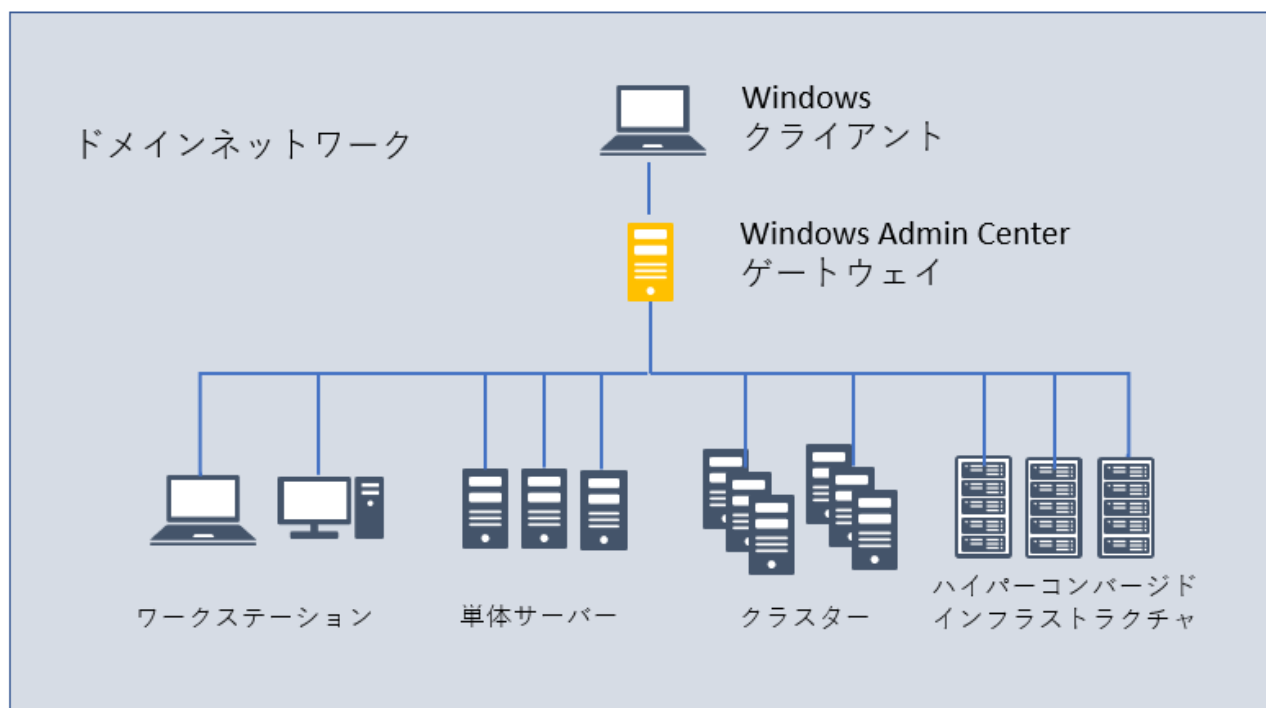
Windows Admin Center ゲートウェイを管理対象システムが参加するドメイン環境上に展開した場合の構成例です。



ワークグループ環境で利用することも可能ですが、その場合は TrustedHosts を編集する必要があります。

次の構成例を参考に、管理対象や Windows Admin Center ゲートウェイ、管理用クライアントのシステム準備を行ってください。Windows Server 2022 または Windows Server 2025 では Windows Admin Center ゲートウェイと管理用クライアントを兼用することができます。

【構成図】 Windows Admin Center ゲートウェイ専用サーバーを展開し、Windows 11 クライアントから管理する場合



2.4 チェックリスト

Windows Admin Center を構成する前に以下の項目を確認してください。

チェック項目	確認
Windows Admin Center のどのインストールオプションを採用するか決めましたか？	
Windows Admin Center 用システムに Windows Admin Center が対応する OS がインストールされていますか？	
Windows Admin Center にアクセスするクライアントシステムにサポートされたブラウザがインストールされていますか？	
管理対象のシステムが、Windows Admin Center でサポートされていますか？	
すべてのシステムがドメイン（またはワークグループ）に参加していますか？	

2.5 構築手順フローチャート

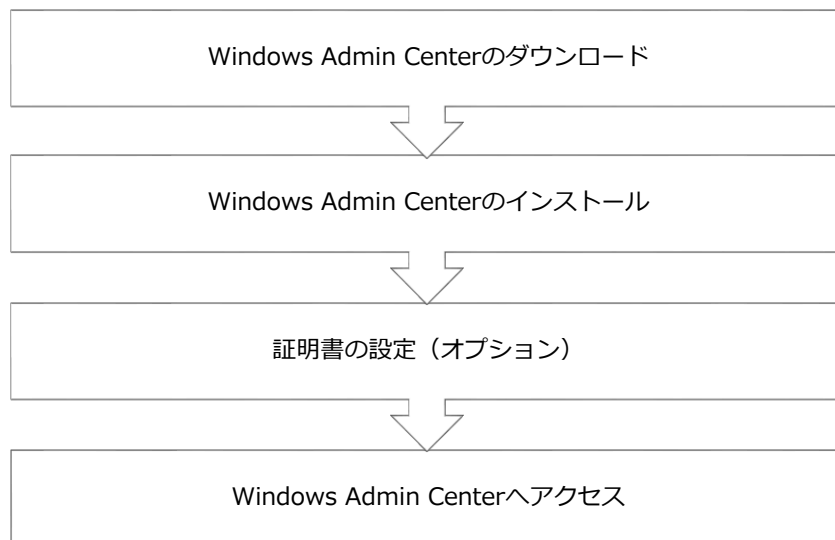
2.5.1 新規インストールの場合

[3 Windows Admin Center の構成] 全体の手順を実行してください。



2.5.2 アップグレードインストールの場合

[3.2 Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの構成] および [3.3 管理用クライアントから Windows Admin Center ゲートウェイサーバーへの接続] の手順を実行してください。



3 Windows Admin Center の構成

以下で説明する Windows Admin Center の構成では、それぞれのシステムに適切な OS がインストールされ、ドメインに参加している状態であることを前提にしています。それが完了していることを確認してから以下を実施してください。

3.1 管理対象システムの準備

Windows Admin Center から管理対象のサーバーを管理できるようにします。Windows Server 2016 以降は Windows Admin Center に対応していますが、Windows Server 2012 R2 以前の OS では、Windows Admin Center から管理されるために必要な設定を実施する必要があります。また、Windows Server 2016 を使って構成された HCI クラスタは、特別な準備をしておく必要があります。

3.1.1 Windows Server 2012 及び 2012 R2 の準備

Windows Server 2012 と Windows Server 2012 R2 の準備をします。ここでは、Windows Server 2012 を使って説明します。



Windows Server 2012/2012 R2 は Microsoft 社のサポート期間が終了しているため、推奨しません。

NEC では既存ノウハウで PP サポートは継続対応します。

3.1.1.1 Windows Management Framework (以下、WMF) バージョン 5.1 またはそれ以上のインストール

1. PowerShell から、\$PSVersionTable を実行し、WMF がインストールされているか、またそのバージョンが 5.1 以上かを確認します。

```
PS C:\Users\administrator.S...> $PSVersionTable

Name                           Value
----                           -
PSVersion                      3.0
WSManStackVersion              3.0
SerializationVersion           1.1.0.1
CLRVersion                     4.0.30319.17929
BuildVersion                   6.2.9200.16384
PSCompatibleVersions           {1.0, 2.0, 3.0}
PSRemotingProtocolVersion      2.2

PS C:\Users\administrator.S...>
```

上記は、Windows Server 2012 で実行した際の出力結果です。バージョンが 3.0 なのが確認できます。5.1 ではないため、次のステップへ進みます。すでに 5.1 である場合は、WMF5.1 のインストールは不要です。

2. 以下のリンクから、WMF 5.1 をダウンロードします。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/powershell/scripting/windows-powershell/wmf/setup/install-configure?view=powershell-7.3>

それぞれの OS バージョンに併せてインストーラーをダウンロードします。

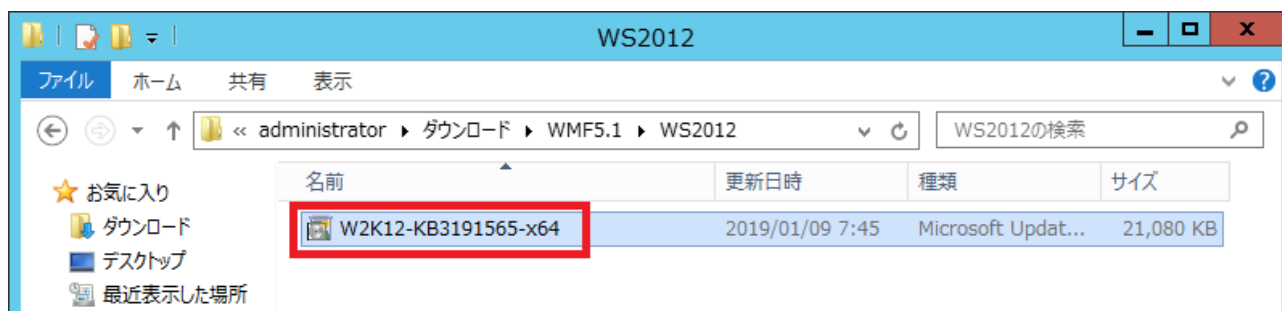
Windows Server 2012 の場合

[W2K12-KB3191565-x64.msu](#) をダウンロードします

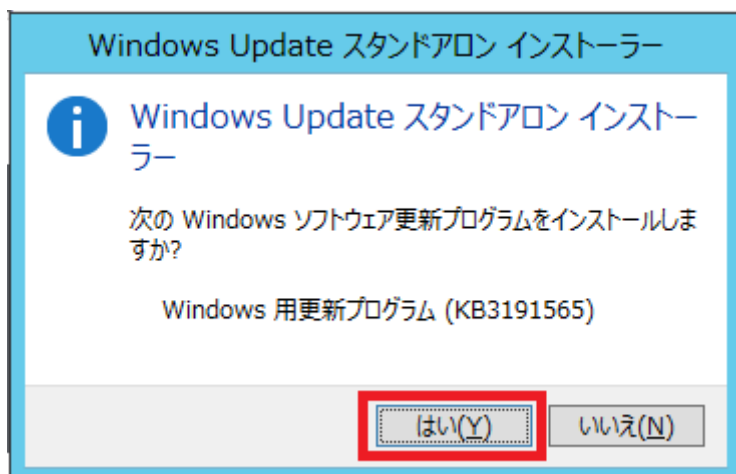
Windows Server 2012 R2 の場合

[Win8.1AndW2K12R2-KB3191564-x64.msu](#) をダウンロードします

3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



4. インストールするかどうか聞かれたら、「はい」をクリックします。



5. 「ライセンス条項をお読みください」で、「同意します」をクリックします。



6. インストールが完了したら、「今すぐ再起動」をクリックし、システムを再起動します。



7. システムが起動したら、PowerShell を管理者で開き、再度バージョンを確認します。

```
PS C:\Windows\system32> $PSVersionTable

Name                           Value
-----                           -
PSVersion                      5.1.14409.1005
PSEdition                      Desktop
PSCompatibleVersions           {1.0, 2.0, 3.0, 4.0...}
BuildVersion                   10.0.14409.1005
CLRVersion                     4.0.30319.42000
WSManStackVersion              3.0
PSRemotingProtocolVersion      2.3
SerializationVersion           1.1.0.1

PS C:\Windows\system32>
```

バージョンが、5.1 にアップデートされているのが確認できます。これで Windows Server 2012 と Windows Server 2012 R2 の準備は完了です。

3.1.2 Windows Server 2016 HCI クラスターの準備

Windows Server 2016 を使って構成された HCI クラスターの準備をします。

1. クラスターを構成するすべてのノードで「2018-05 x64 ベース システム用 Windows Server 2016 の累積更新プログラム (KB4103720)」以降の累積更新プログラムが適用されていることを確認します。

実行日	実行 ID	更新プログラム	状態
2019/01/26	aaac3636-f...	39	成功
2019/01/27	be6e51b0-...	4	成功
2019/01/28	787a528f-5...	4	成功

ノード名	更新プログラム ID	更新プログラムのタイトル	更新結果コード
WS2016HCI01	a711f6a5-5bf3-...	2018-05 x64 ベース シ...	成功
WS2016HCI01	bfd4b49-a42b-...	悪意のあるソフトウェア...	成功
WS2016HCI01	e6576b67-ca24-...	Windows Defender...	成功
WS2016HCI01	035de820-3292-...	2018-05 x64 ベース シ...	成功
WS2016HCI01	8e16108f-4a20-...	2018-10 x64 ベース シ...	成功
WS2016HCI01	1e1c3ded-b719-...	2019-01 x64 ベース シ...	成功
WS2016HCI01	6cac163c-2d2e-...	Update for Windows...	成功
WS2016HCI01	04efef87-b4ef-...	Windows Defender...	成功
WS2016HCI01	c70eb99d-990e-...	2018-11 x64 ベース シ...	成功

ノード名: WS2016HCI01
更新プログラムのタイトル: 2018-05 x64 ベース システム用 Windows Server 2016 の累積更新プログラム (KB4103720)
インストール日時: 2019/01/26 12:00
この更新プログラムを有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

上記の例では、クラスター対応更新の更新実行レポートから、「2018-05 x64 ベース システム用 Windows Server 2016 の累積更新プログラム (KB4103720)」が適用されていることが確認できます。



サーバーにインターネット環境がない場合は、Microsoft Update カタログ

<https://www.catalog.update.microsoft.com/Home.aspx>

から更新プログラムをダウンロードできます。上記サイトの検索ボックスから

「Windows Server 2016 for x64-based Systems (KB4103720)」で検索し、ダウンロードしてください。

2. HCI クラスターを構成するいずれかのノード上で、管理者として PowerShell を起動し、次のコマンドを実行します。

```
PS> Add-ClusterResourceType -Name "SDDC Management" -dll
```

```
"$env:SystemRoot%Cluster%Sddcres.dll" -DisplayName "SDDC Management"
```

```
PS C:\Users\Administrator.S> Add-ClusterResourceType -Name "SDDC Management" -dll "C:\Windows\Cluster\SddcRes.dll" -DisplayName "SDDC Management"
```

Name	DisplayName
SDDC Management	SDDC Management

```
PS C:\Users\Administrator.S>
```



Add-ClusterResourceType コマンドは、HCI クラスターを構成するすべてのノードで実行する必要はありません。

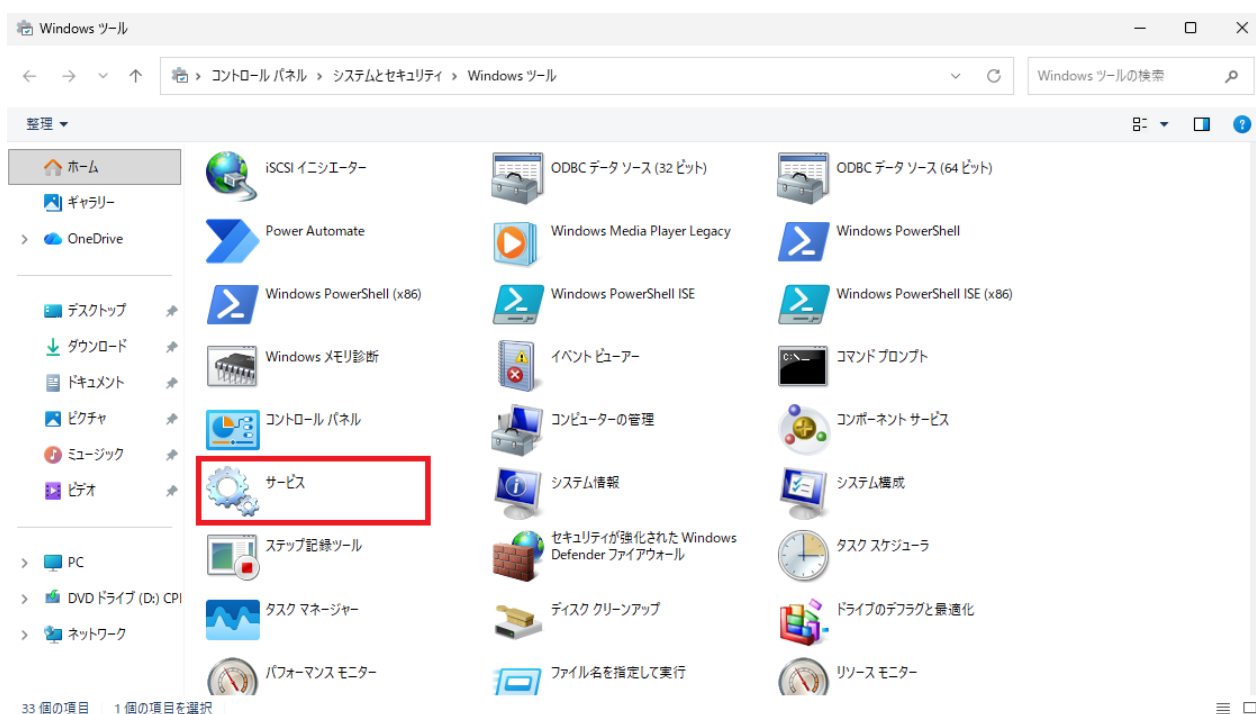
3.1.3 管理対象クライアントの準備

管理対象クライアントの準備では、システムが Windows Admin Center からアクセスできる状態になっているかを確認します。Windows Admin Center で管理するためには、Windows Remote Management サービスが実行中で、ファイアウォールで許可されている必要があります。以下に Windows 11 を使った場合の確認・設定方法を説明します。



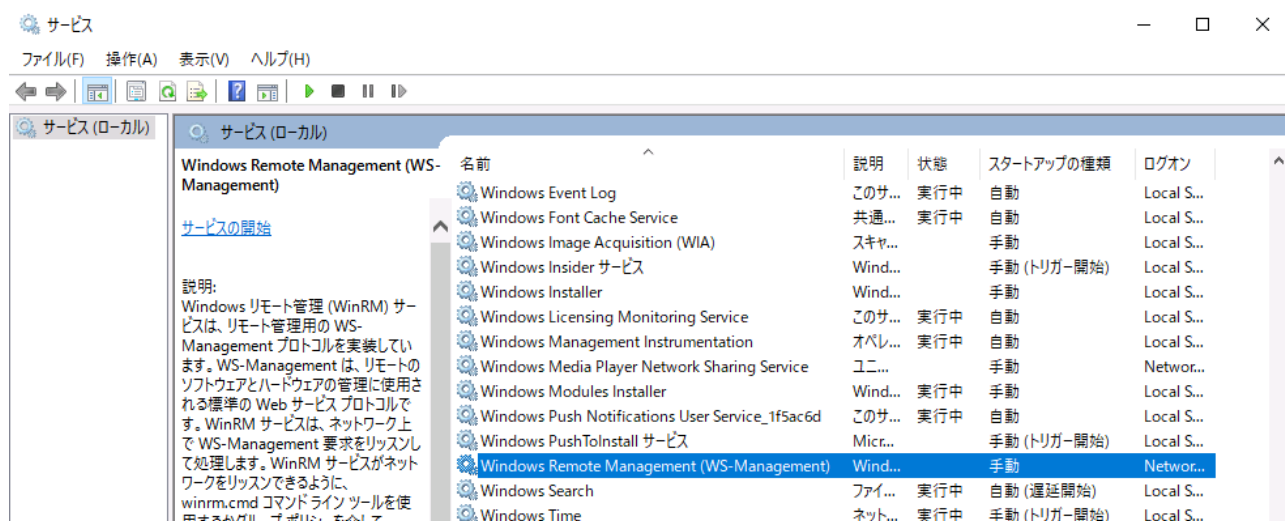
Windows Server 2022 または Windows Server 2025 のゲートウェイから Edge ブラウザを使って自らの Windows Admin Center にアクセスする場合は、以下の作業は不要です。

1. Windows キーを押して開くウィンドウから、「すべて」>「Windows ツール」を開き、「サービス」を開きます。



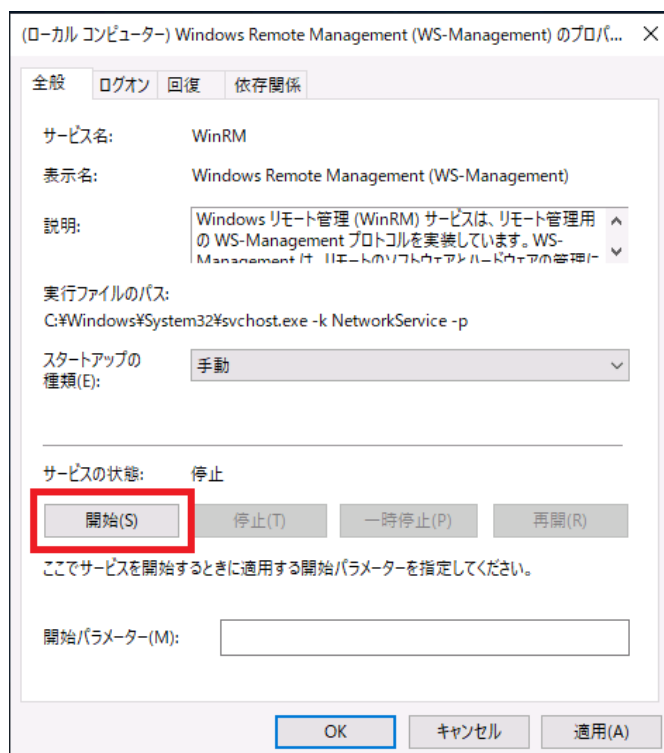
Windows キーを押して開くウィンドウが「ビュー: カテゴリ」の場合は、「ユーティリティとツール」のカテゴリを選択してください。

2. Windows Remote Management (WS-Management) を選択し、状態を確認します。



上記の例では、Windows Remote Management (WS-Management)サービスの状態が実行中になっていないことが確認できます。

3. Windows Remote Management (WS-Management) をダブルクリックしてプロパティを開き、開始をクリックします。

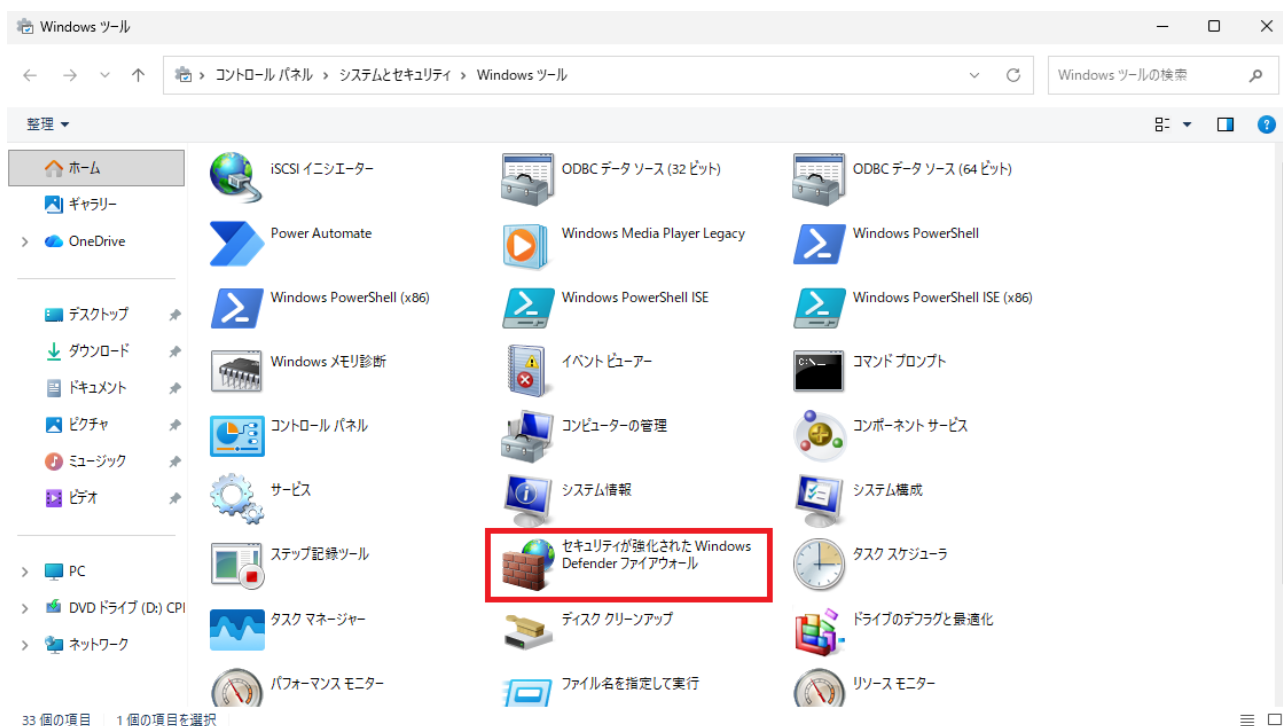


これで Windows Remote Management (WS-Management)サービスが開始されます。

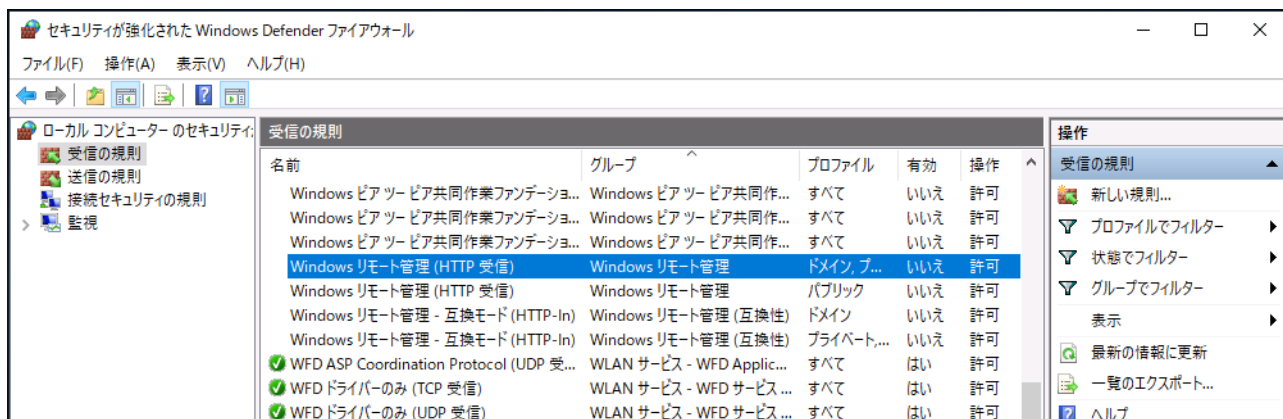


スタートアップの種類が手動となっているので、システムを再起動するとサービスは停止 (実行中になっていない) 状態になります。Windows Admin Center から接続が必要であれば、再度開始してください。

4. Windows キーを押して開くウィンドウから、「すべて」>「Windows ツール」を開き、「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」を開きます。



5. 受信の規則を選び、Windows リモート管理の状態を確認します。



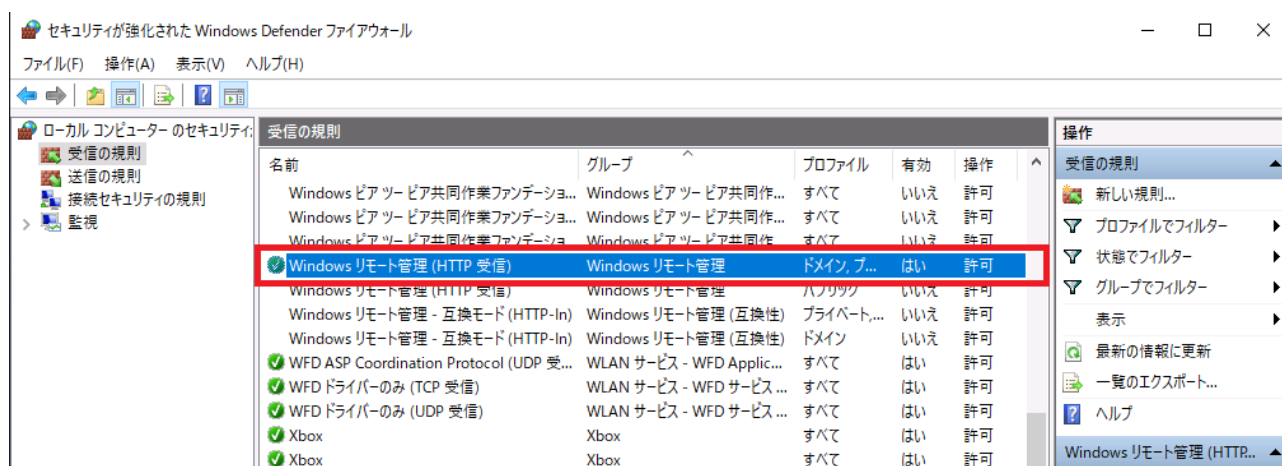
上記の例では、Windows リモート管理(HTTP 受信)の有効欄が「いいえ」になっており、無効になっていることが確認できます。

6. Windows リモート管理 (HTTP 受信) を右クリックし、「規則の有効化」を選択します。



本構築ガイドではドメインに参加している Windows 11 を例としています。
使用する環境に合わせて、適切なプロファイルの規則を有効化する必要があります。

以下は Windows リモート管理が有効になった状態を示しています。これで Windows リモート管理がドメイン環境で有効になりました。



3.2 Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの構成

Windows Admin Center ゲートウェイサーバーの設定をします。Windows Admin Center ゲートウェイ専用のサーバー上で行います。

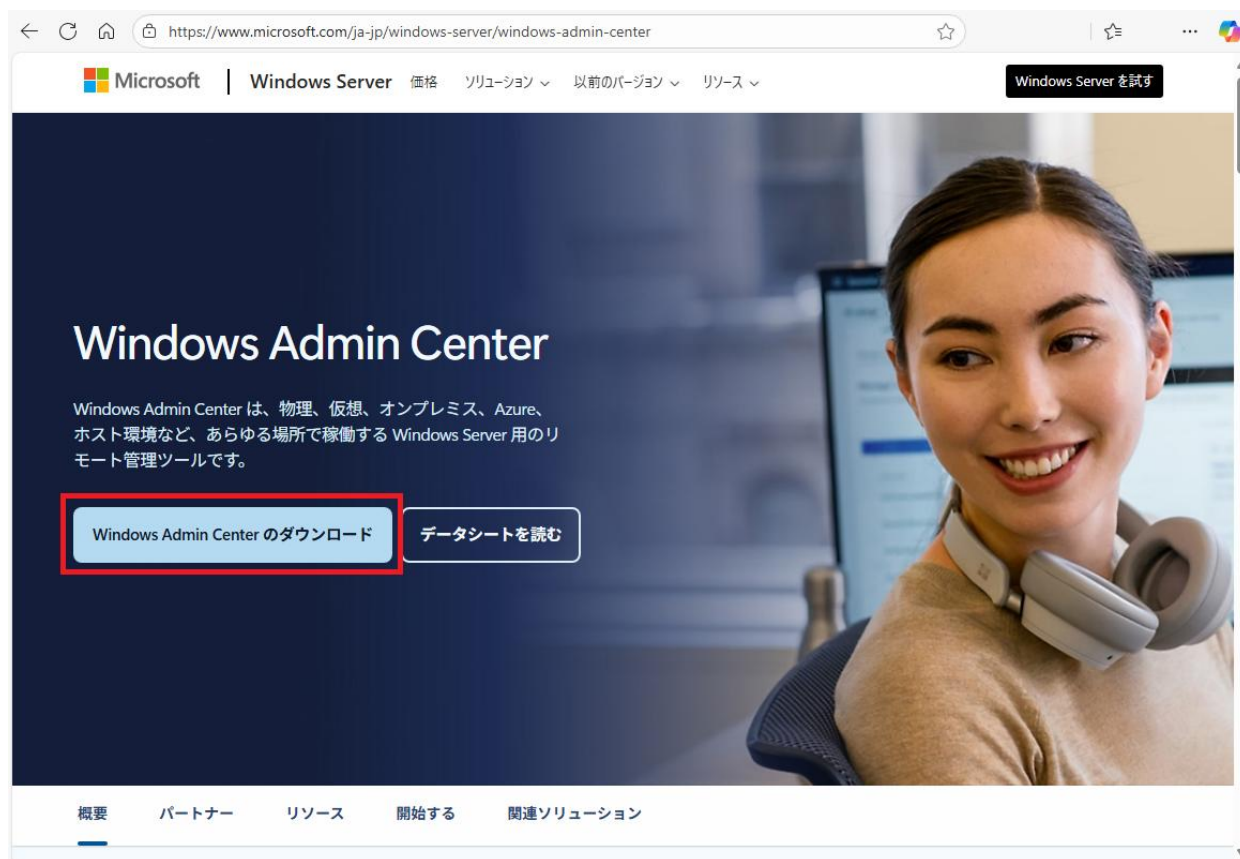
3.2.1 Windows Admin Center のダウンロード

Windows Admin Center の最新版をマイクロソフトのサイトからダウンロードします。

1. 以下のサイトへアクセスします。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows-server/windows-admin-center>

2. 「Windows Admin Center のダウンロード」をクリックします。



3. 「MSI をダウンロードする」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Evaluation Center page for Windows Admin Center. The navigation bar includes the Microsoft logo, 'Evaluation Center', and links for 'Windows', 'Windows Server', 'SQL Server', and '表示数を増やす'. A dropdown menu for 'すべての Microsoft 製品' is also visible. The main heading is 'Windows Admin Center'. Below it, there are links for '無料で使用開始', '説明', '前提条件', 'リソース', and 'サポートする製品'. The '無料で使用開始' section is active, showing a sub-heading '無料で使用開始' and a prompt '製品エクスペリエンスを選択してください:'. Two links are provided: 'MSI をダウンロードする >' (highlighted with a red box) and 'Azure 内の Windows Admin Center を試す >'. The '説明' section follows, with a sub-heading '説明' and a paragraph describing Windows Admin Center as a browser-based application for managing servers, clusters, and hyperconverged infrastructures. It also lists '利点' (Benefits) such as 'シンプルでモダンな管理エクスペリエンス', 'ハイブリッド機能', '統合型ツールセット', and '拡張性を実現する設計'. At the bottom, there is a link to 'Windows Server 製品のサイトにアクセスして、詳細情報をご覧ください.'

4. フォームに記入するように求められたら、必要事項を入力し、「ダウンロードする」をクリックします。

Windows Admin Center で、はじめましょう

Windows Admin Center は、ローカルに展開された新しいブラウザーベースの管理ツールセットであり、Azure やクラウドに依存せずに Windows Server を管理できるようにします。Windows Admin Center を使用すると、サーバー インフラのあらゆる側面を完全に制御でき、インターネットに接続していないプライベート ネットワーク上のサーバーの管理に特に役立ちます。

主なメリット:

- 使い慣れた機能とツール
- インストールと使用が簡単
- 既存のソリューションを補完
- どこからでも管理可能
- 管理プラットフォームのセキュリティを強化
- Azure サービスとの統合
- ハイパーコンバージド クラスターとフェールオーバークラスターの展開
- ハイパー コンバージド クラスターの管理
- 拡張性を念頭に置いた構築

[Windows Admin Center](#) の機能の詳細についてご確認ください。

無料のダウンロードに今すぐ登録ください

以下のフォームにご入力ください。

* 名

* 姓

* ビジネス用 メールアドレス

* 会社名

* 国/地域

国/地域 *

* 従業員数

従業員数

* 職務

* 職場の電話番号

国コード *

* お問い合わせ内容

ダウンロードする

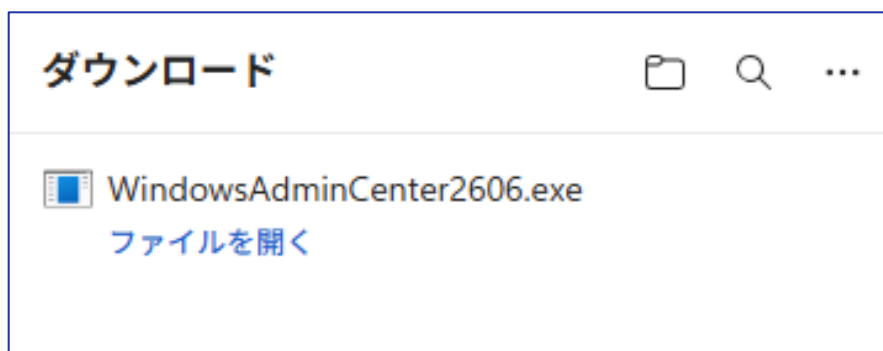
* 必須フィールド

5. 「今すぐダウンロード」をクリックします。

ダウンロードする Windows Admin Center 製品を選択してください

英語	Windows Admin Center 今すぐダウンロード >	Azure での Windows Admin Center 今すぐ試す >
----	--	---

6. ダウンロードが開始されると、ブラウザにステータスが表示されます。必要に応じて適切な場所へ保存します。



2026 年 7 月時点の最新バージョンは 2606 です。



Windows Admin Center Preview はサポート対象外です。

3.2.2 Windows Admin Center のインストール

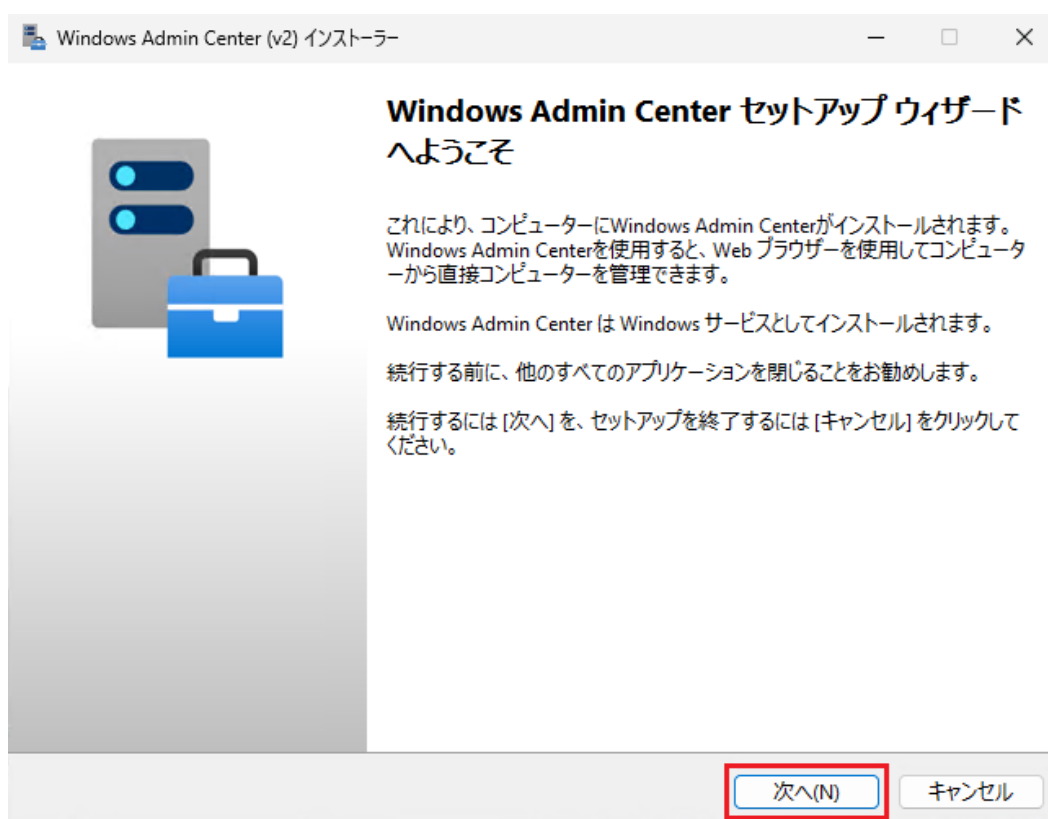
Windows Admin Center のインストールには、Windows 11 上にインストールするデスクトップモードとサーバー上にインストールするゲートウェイモードの 2 種類のモードがあります。展開方法にはいくつかのオプションがありますが、Windows 11 以外にインストールする場合は、すべてゲートウェイモードのインストールを行います。本書では、Windows サーバー OS（デスクトップエクスペリエンス）にゲートウェイモードでインストールする手順を説明します。



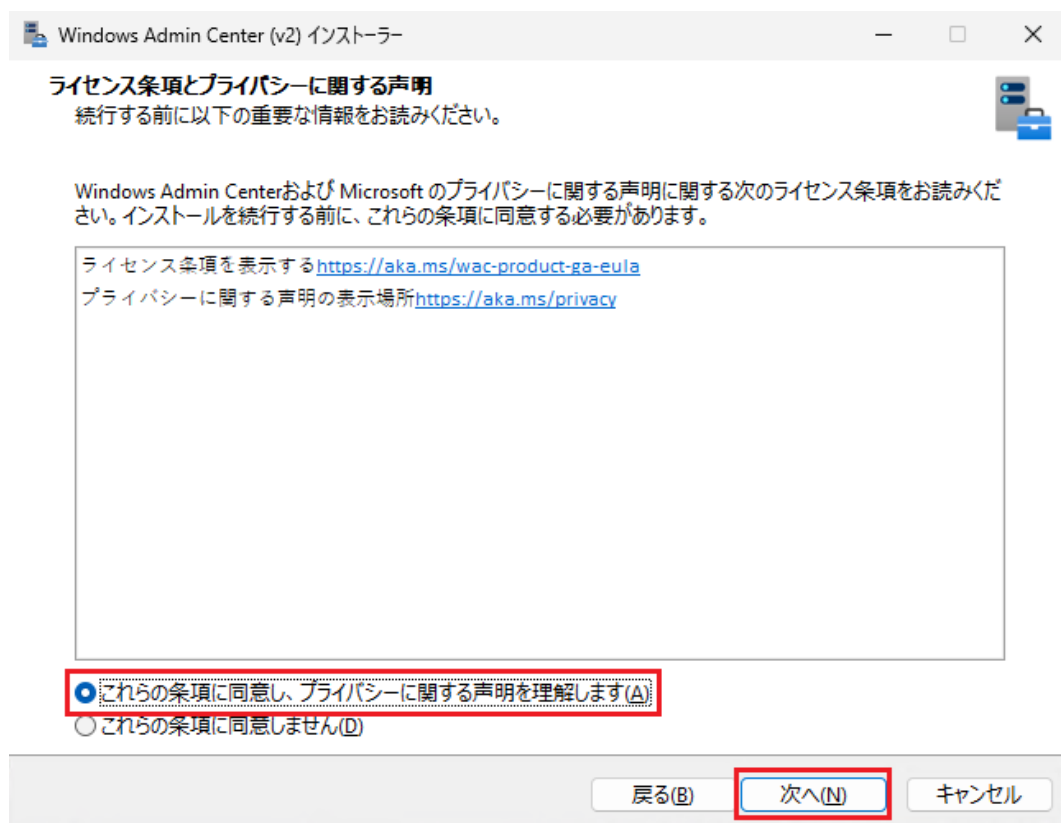
Server Core へインストールする際は、以下のリンクを参考に実施してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/manage/windows-admin-center/deploy/install>

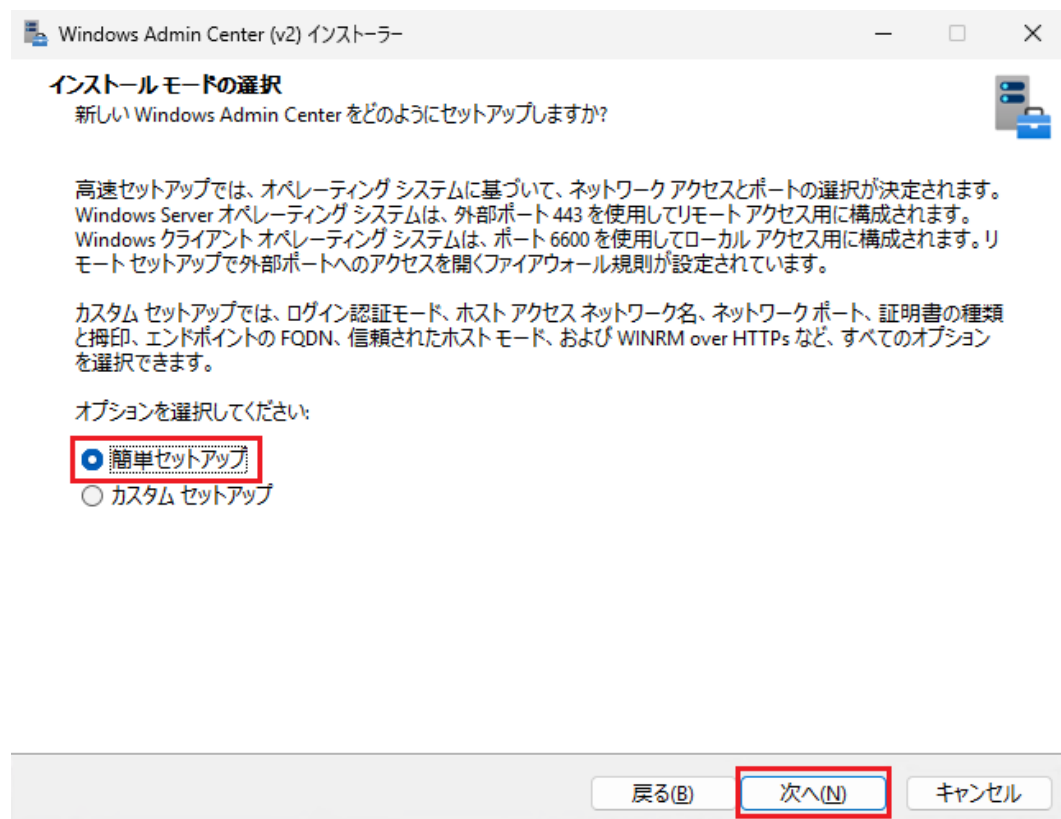
1. Windows Admin Center をインストールまたはアップグレードするサーバー上で、ダウンロードしたインストーラーファイルを実行します。
2. Windows Admin Center セットアップが開いたら、「次へ」をクリックします。



3. 「これらの条項に同意し、プライバシーに関する声明を理解します(A)」を選択し、「次へ」をクリックします。



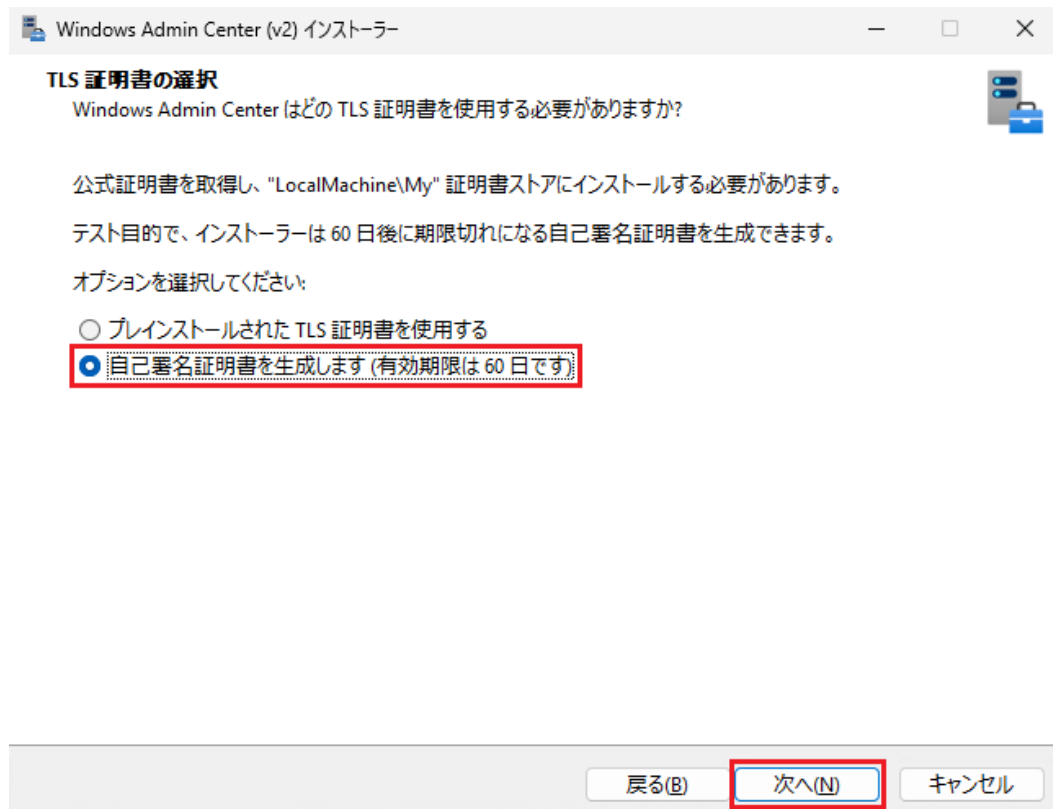
4. 「簡単セットアップ」を選択している状態で「次へ」をクリックします。



5. 使用する証明書を選択し「次へ」をクリックします。

5-1. 自己署名 SSL 証明書を使用する場合

① 「自己署名証明書を生成します（有効期限は 60 日です）」を選択し「次へ」をクリックします。



正規の証明書が準備されている場合は、自己署名 SSL 証明書を選択せずにそちらを選択してください。

5-2. あらかじめ用意した正規の証明書を使用する場合

- ① 「プレインストールされた TLS 証明書を使用する」を選択し「次へ」をクリックします。

Windows Admin Center (v2) インストーラー

TLS 証明書の選択

Windows Admin Center はどの TLS 証明書を使用する必要がありますか?

公式証明書を取得し、"LocalMachine\My" 証明書ストアにインストールする必要があります。

テスト目的で、インストーラーは 60 日後に期限切れになる自己署名証明書を生成できます。

オプションを選択してください:

☒ プレインストールされた TLS 証明書を使用する

☐ 自己署名証明書を生成します (有効期限は 60 日です)

戻る(B) 次へ(N) キャンセル

- ② 使用する証明書の拇印を入力し「次へ」をクリックします。

Windows Admin Center (v2) インストーラー

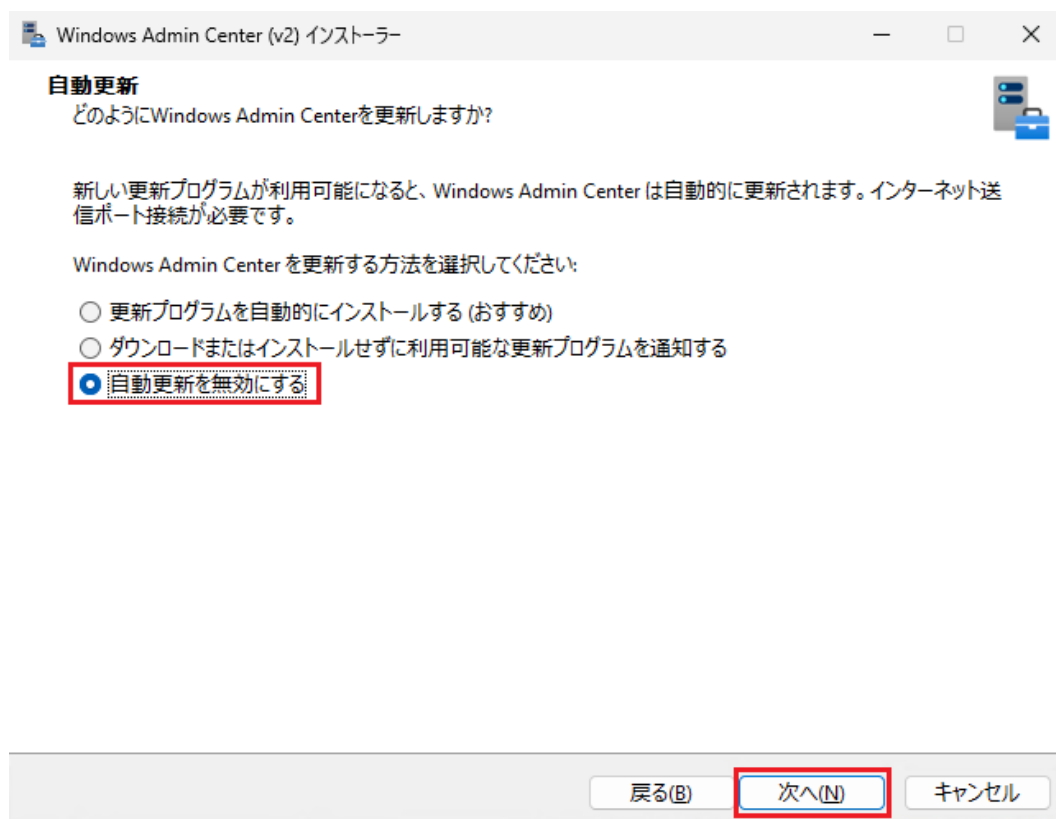
TLS 証明書の拇印

プレインストールされた TLS 証明書の拇印とは何ですか?

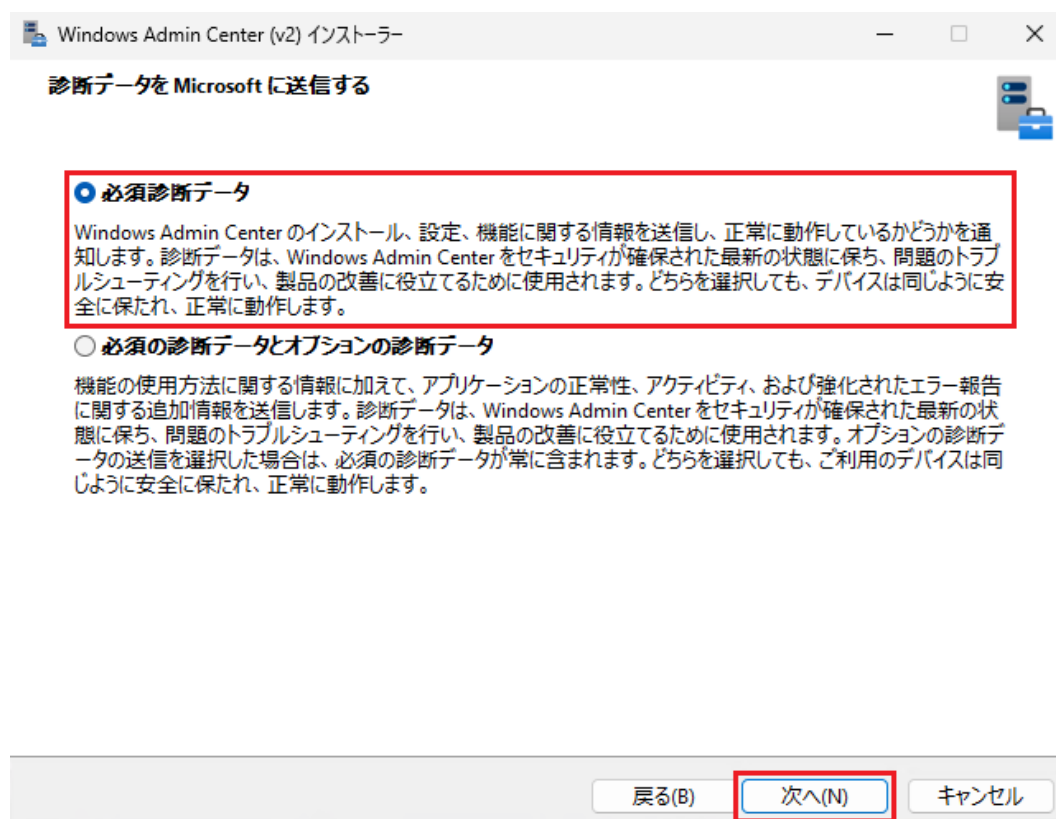
TLS 証明書の拇印の選択:

戻る(B) 次へ(N) キャンセル

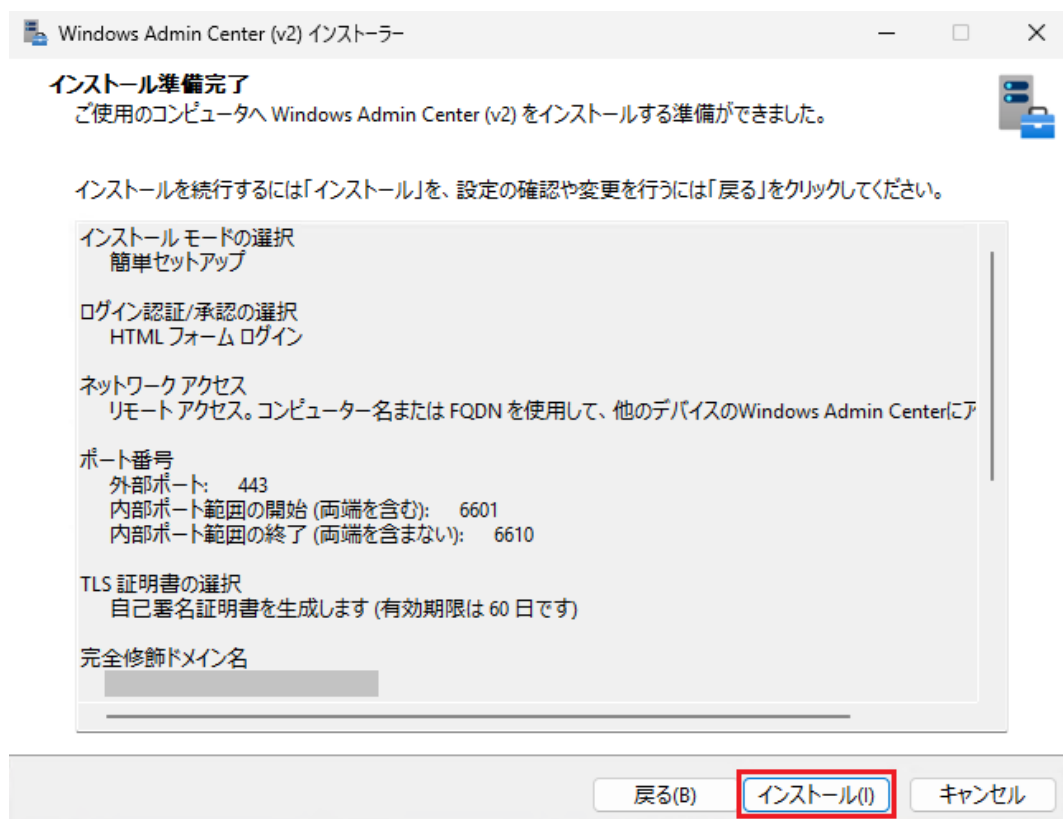
6. 「自動更新を無効にする」を選択し「次へ」をクリックします。



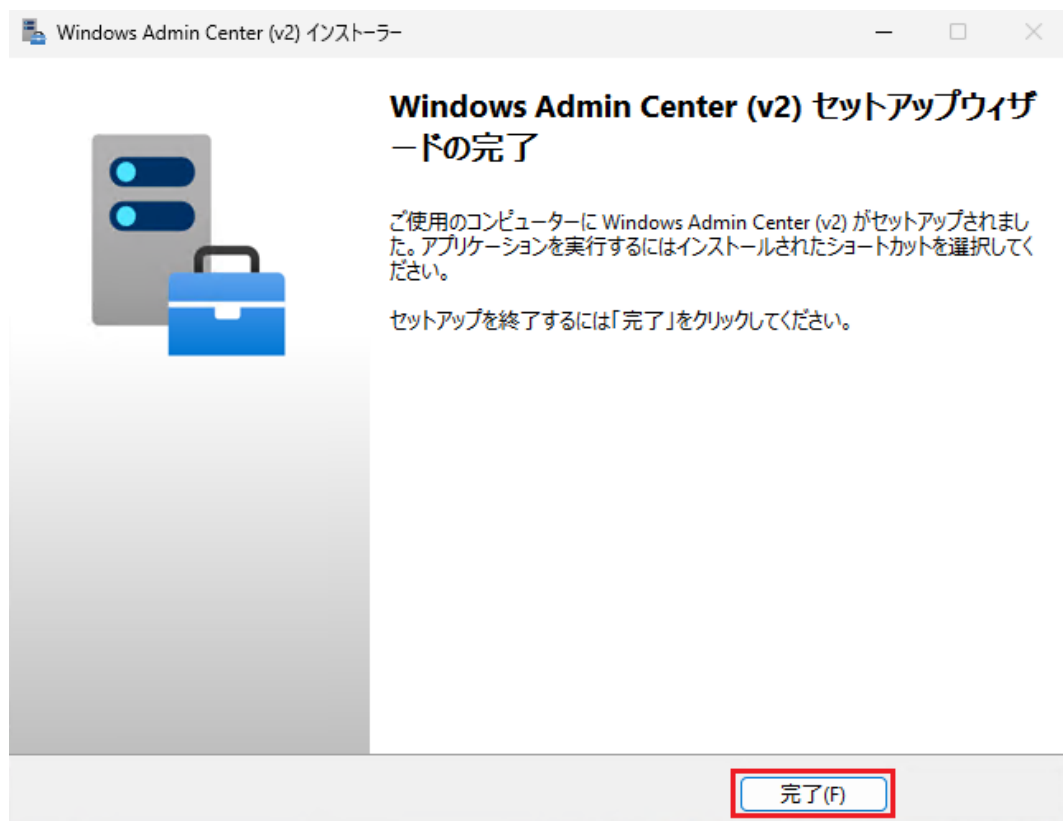
7. 診断データを Microsoft に送信する画面が表示されたら、「必須の診断データ」、または「必須の診断データとオプションの診断データ」のどちらかを選んで、「次へ」をクリックします。



8. 各設定内容を確認し「インストール(I)」をクリックします。



9. 「Windows Admin Center (v2) セットアップウィザードの完了」と表示されたら「完了(F)」をクリックします。



3.2.3 自己署名 SSL 証明書のエクスポートとインポート（オプション）

自己署名 SSL 証明書を Windows Admin Center のインストール中に生成した場合、その証明書をエクスポートし、Windows Admin Center へ接続するクライアント上にインポートする必要があります。ここでは、そのエクスポートとインポートの方法を説明します。



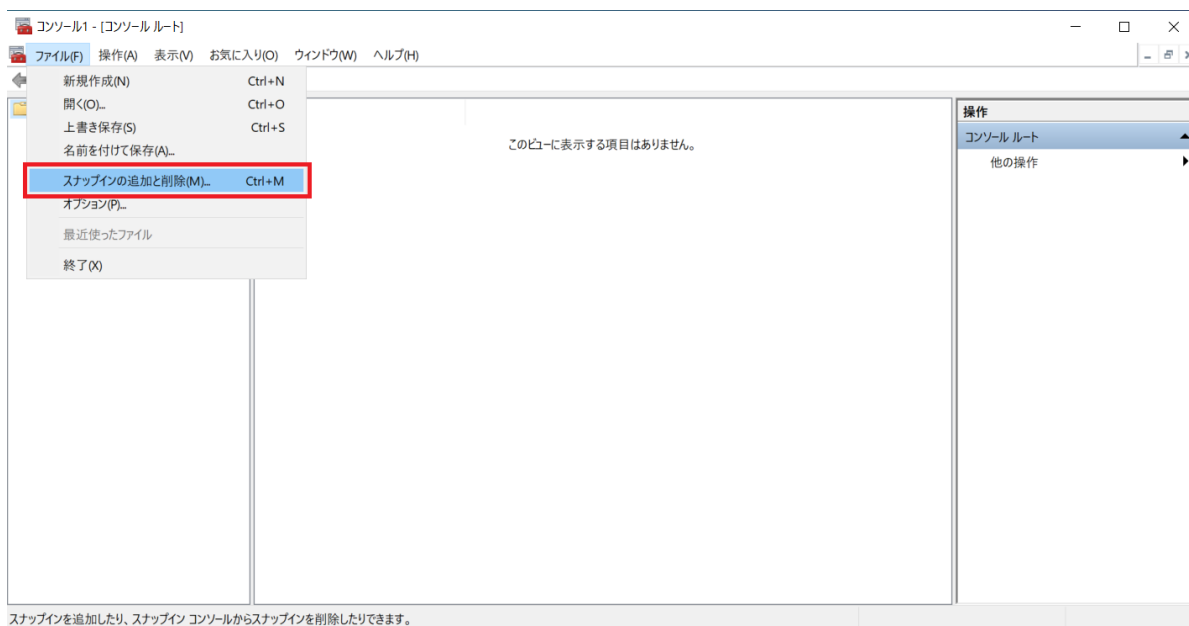
正規の証明書を使用した場合にも、インポートは必要です。環境に応じて実施してください。



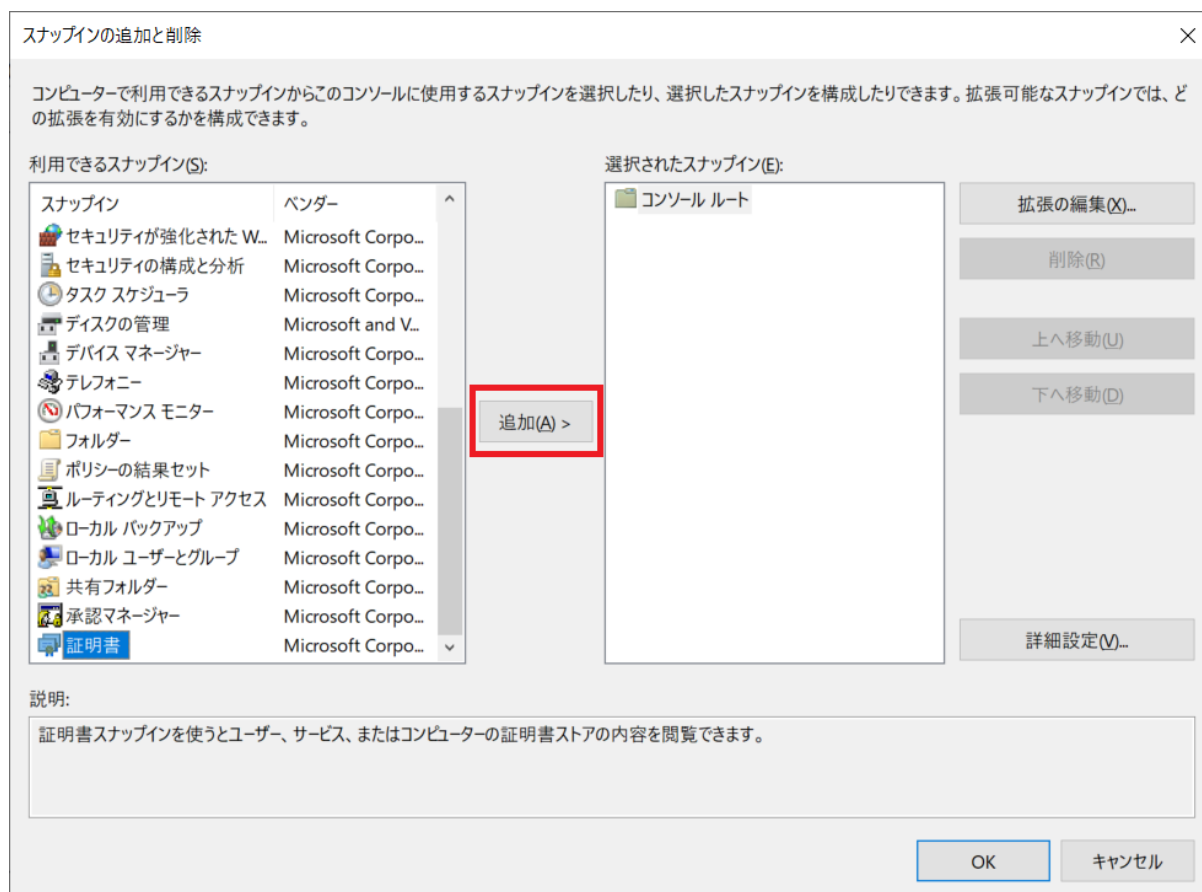
Windows Server 2022 または Windows Server 2025 でゲートウェイと管理用クライアントを兼ねる場合は、本節の手順を実施する必要はありません。

3.2.3.1 自己署名 SSL 証明書のエクスポート

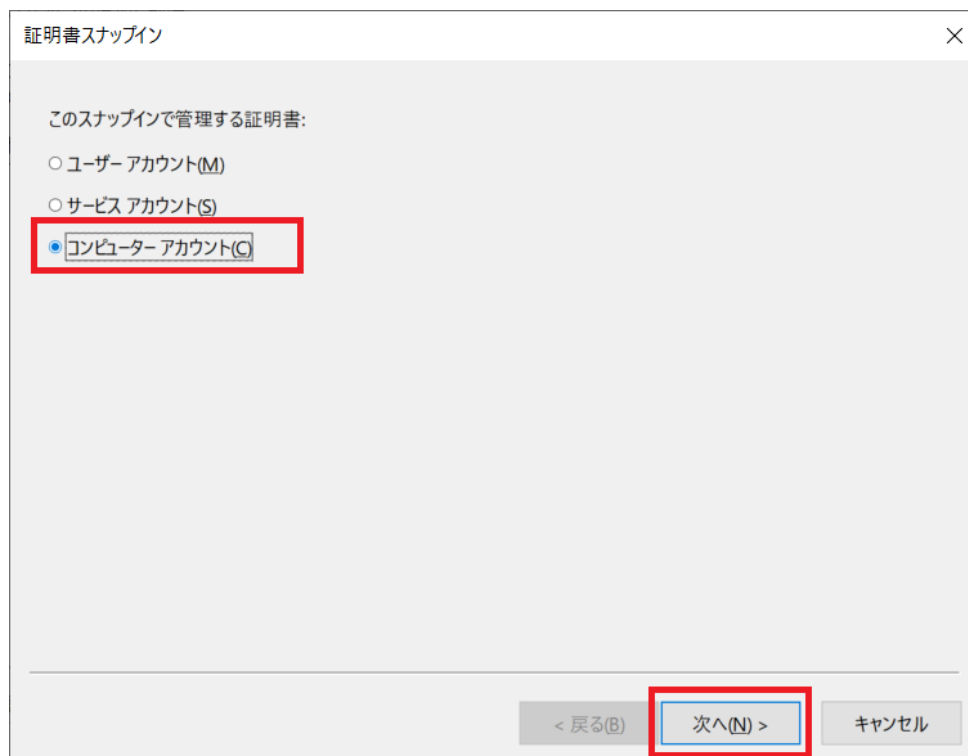
1. Windows Admin Center がインストールされているサーバー上で、mmc を起動し、「スナップインの追加と削除」を選びます。



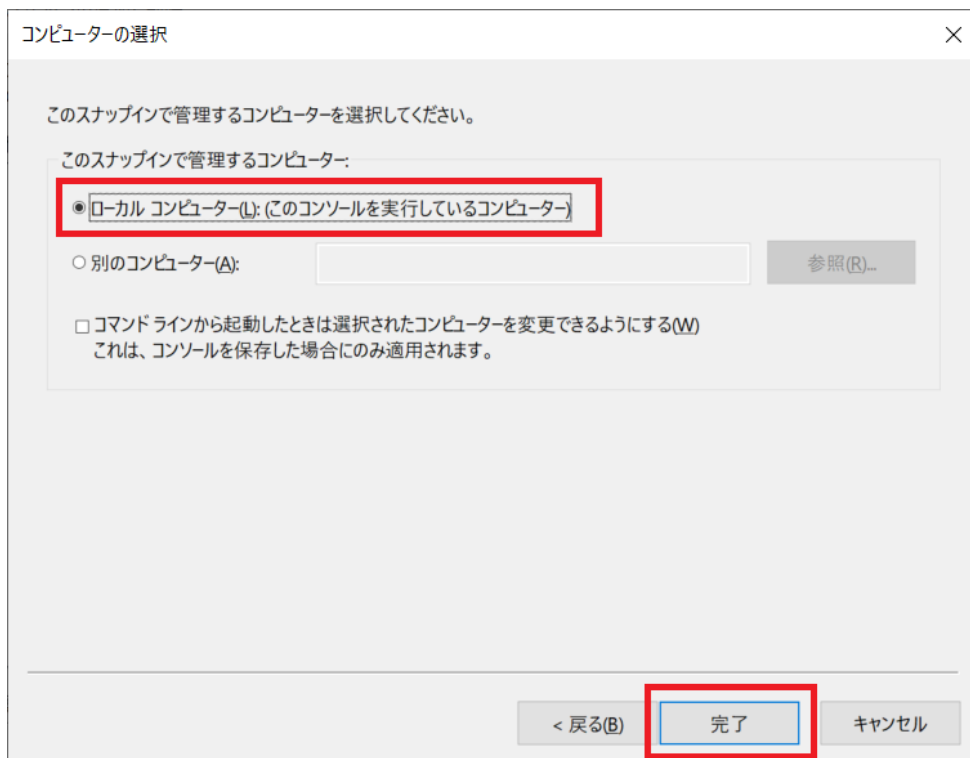
2. 「利用できるスナップイン」から、「証明書」を選び、「追加」をクリックします。



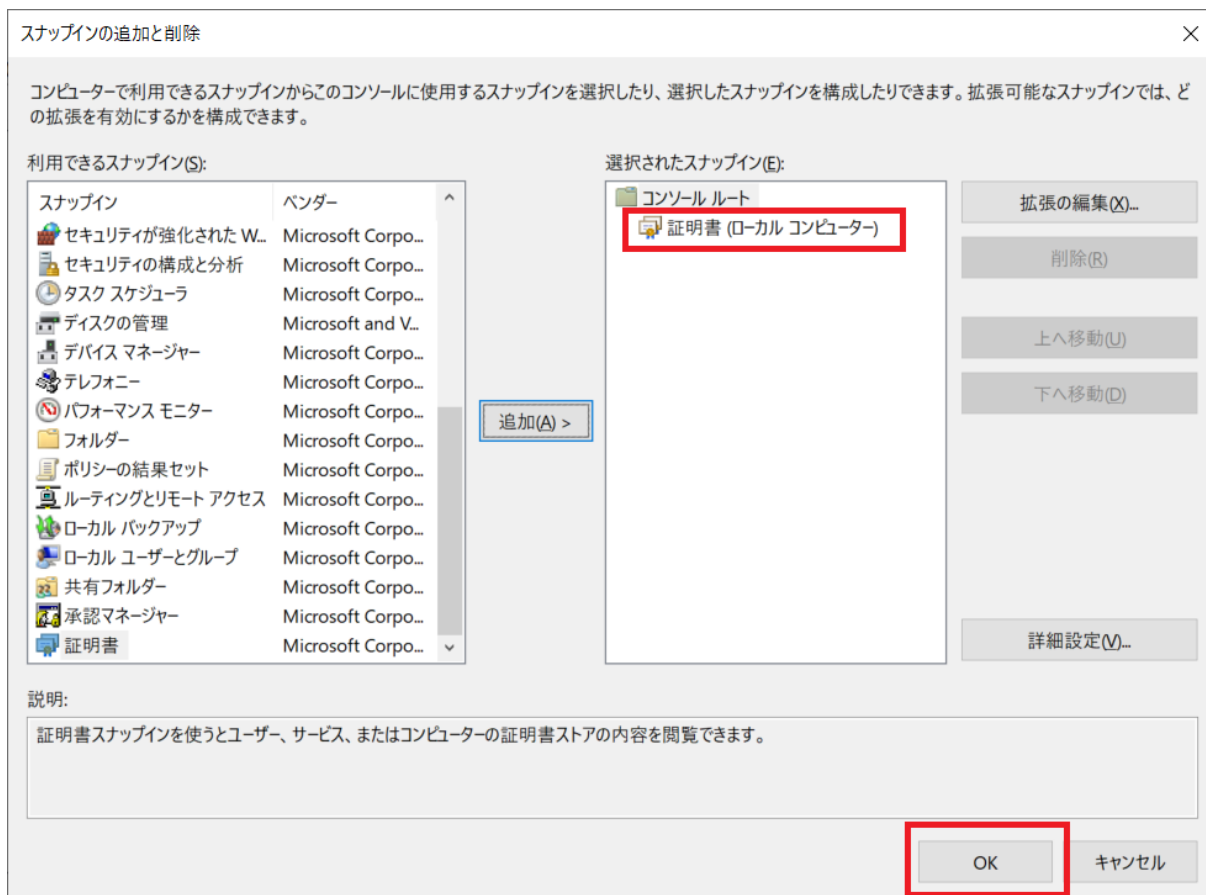
3. 証明書スナップインが表示されたら、「コンピューターアカウント」を選択し、「次へ」をクリックします。



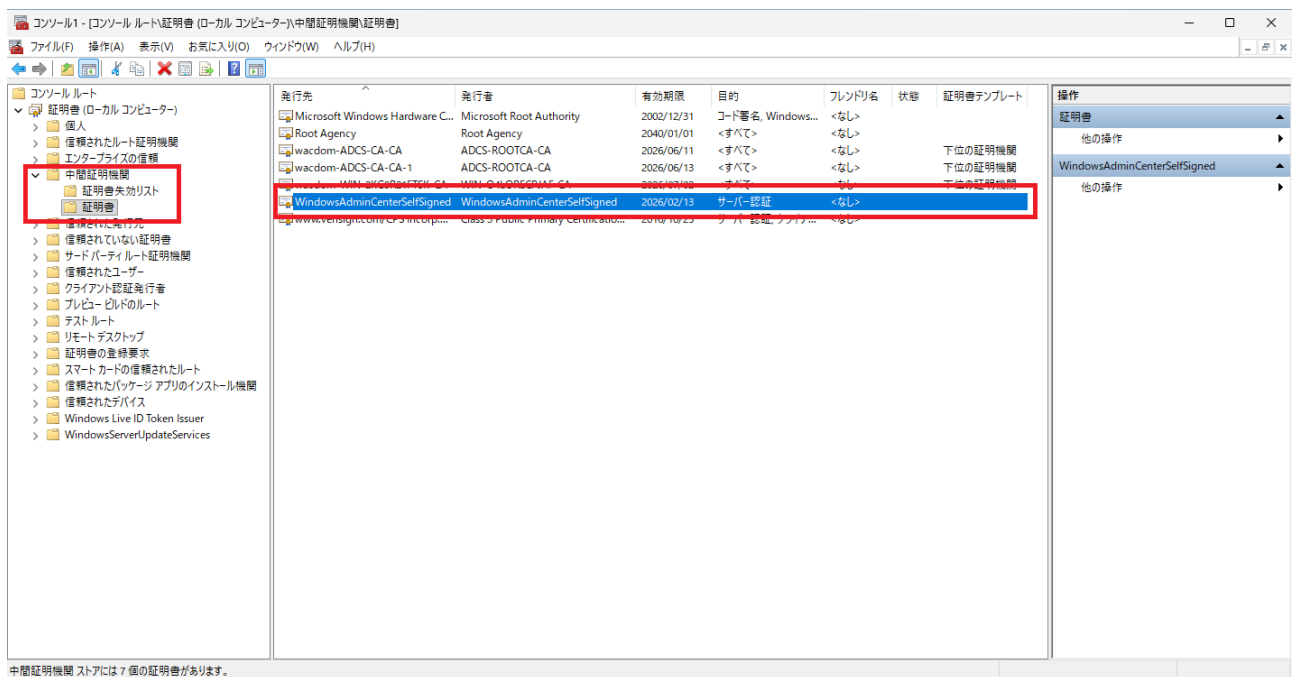
4. コンピューターの選択で、「ローカルコンピューター」が選択されていることを確認し、「完了」をクリックします。



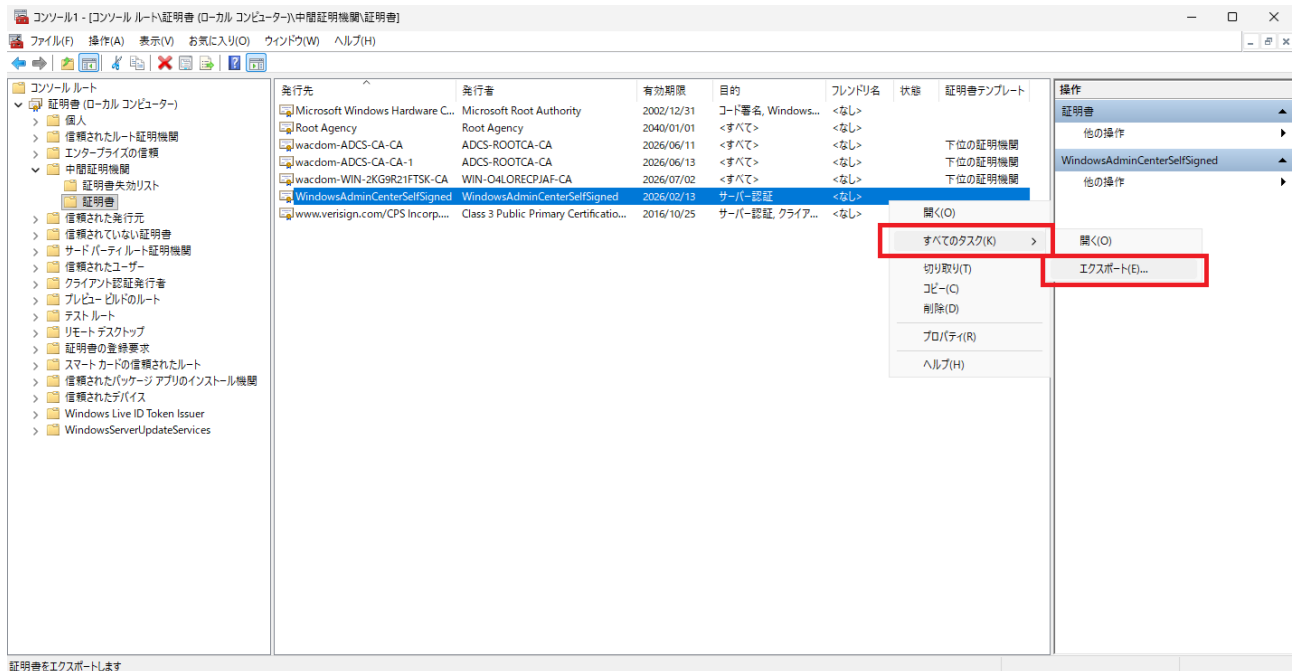
5. 証明書スナップインが追加されたら、「OK」をクリックします。



6. ローカルコンピュータの証明書が開いたら、「証明書」へ移動し、
Windows Admin Center の証明書「WindowsAdminCenterSelfSigned」があることを確認します。



7. サーバー認証用の証明書「WindowsAdminCenterSelfSigned」を右クリックし、「すべてのタスク
> エクスポート」を選択します。



8. 証明書のエクスポートウィザードが開いたら、「次へ」をクリックします。

×

←  証明書のエクスポートウィザード

証明書のエクスポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リストおよび証明書失効リストを証明書ストアからディスクにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ(N)

キャンセル

9. エクスポートファイルの形式で、「次へ」をクリックします。（既定で「DER encoded binary X.509(.CER)」が選択されているのが確認できます。）

×

←  証明書のエクスポート ウィザード

エクスポート ファイルの形式

さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。

使用する形式を選択してください:

☒ DER encoded binary X.509 (.CER)(D)

☐ Base 64 encoded X.509 (.CER)(S)

☐ Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (P7B)(C)

☐ 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(I)

☐ Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX)(P)

☐ 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U)
☐ 正しくエクスポートされたときは秘密キーを削除する(K)
☐ すべての拡張プロパティをエクスポートする(A)
☐ 証明書のプライバシーを有効にする(E)

☐ Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)(I)

次へ(N) キャンセル

10. エクスポートするファイルで、「参照」をクリックし、保存先とファイル名を指定した後、「次へ」をクリックします。

×

←  証明書のエクスポート ウィザード

エクスポートするファイル

エクスポートするファイルの名前を入力してください

ファイル名(F):

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

11. 「証明書のエクスポートウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックします。

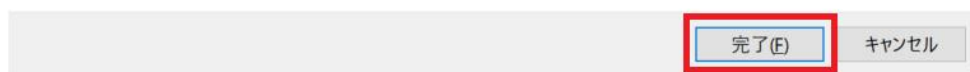
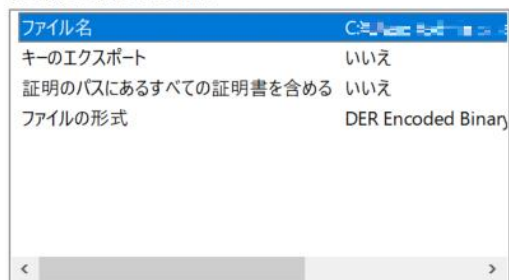
×

← 証明書のエクスポート ウィザード

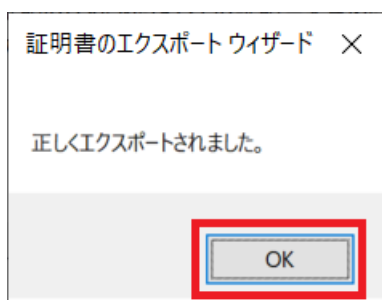
証明書のエクスポート ウィザードの完了

証明書のエクスポート ウィザードが正常に完了しました。

次の設定が指定されました:

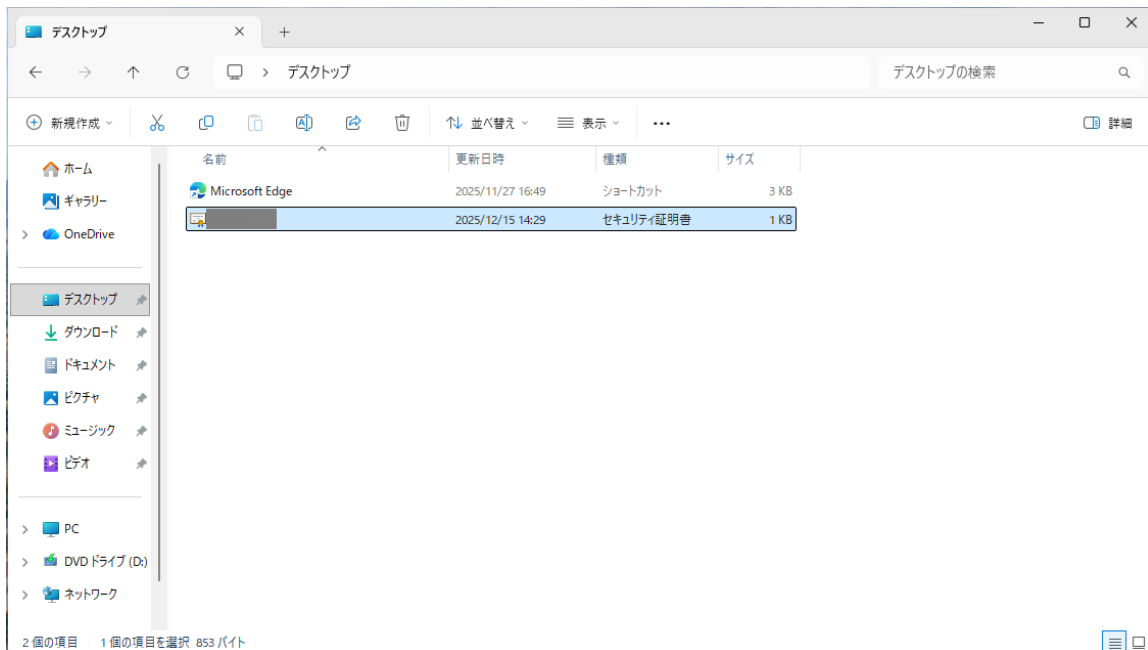


12. 「正しくエクスポートされました」とメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



3.2.3.2 自己署名 SSL 証明書のインポート

1. Windows Admin Center へアクセスする管理用クライアント上で、Windows Admin Center のゲートウェイサーバーからエクスポートされた証明書をダブルクリックします。



2. 証明書が開いたら、「証明書のインストール」をクリックします。



3. 証明書のインポートウィザードが開いたら、保存場所に「ローカルコンピューター」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. 証明書ストアで、「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、参照をクリックして証明書ストアに「信頼されたルート証明書機関」を選び、「次へ」をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☐ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☒ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

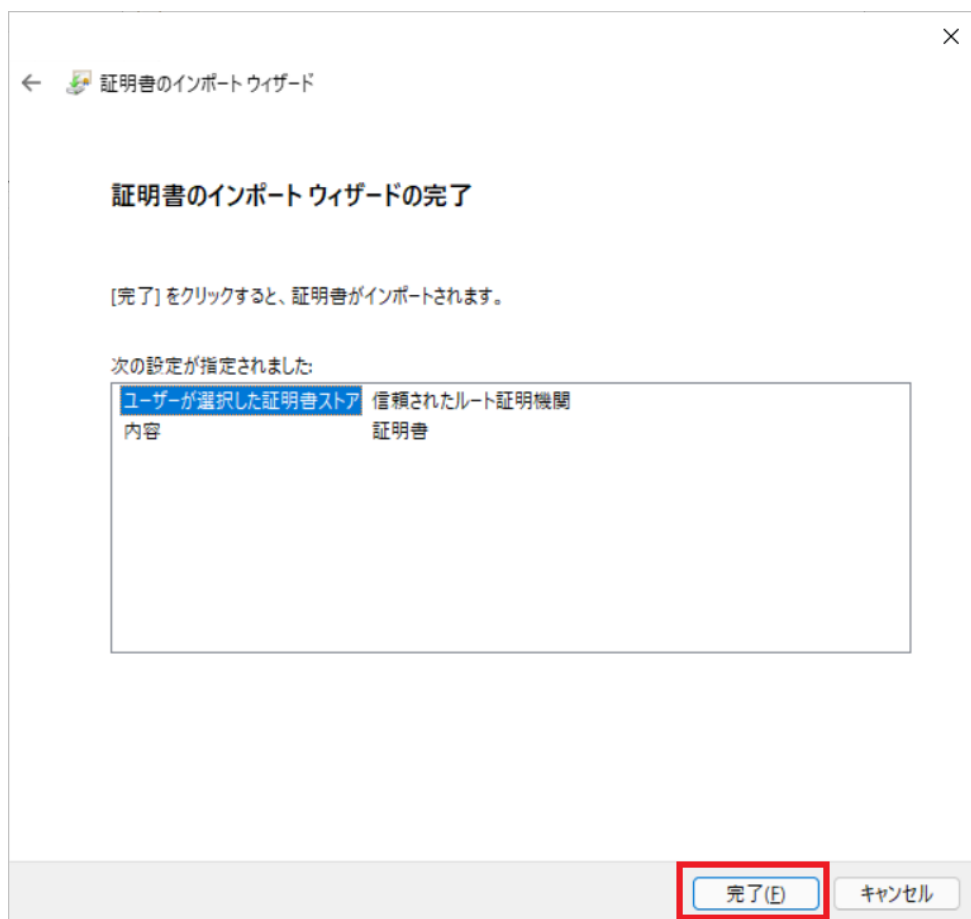
証明書ストア:

信頼されたルート証明機関

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

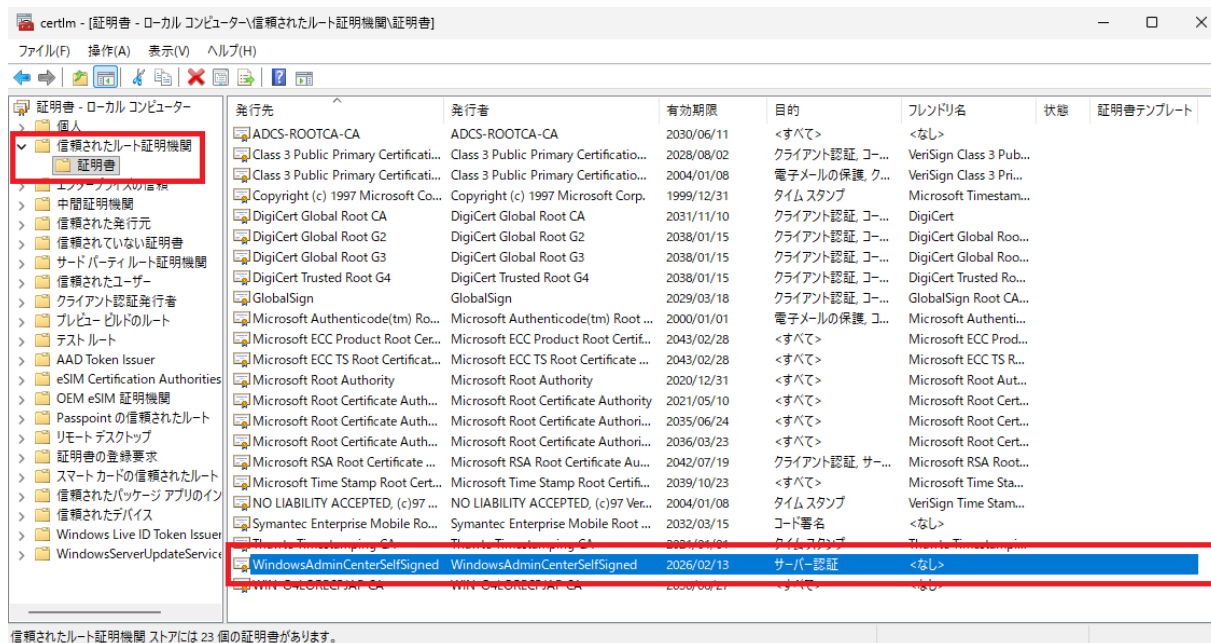
5. 証明書のインポートウィザードの完了が開いたら、「完了」をクリックします。



6. 「正しくインポートされました」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



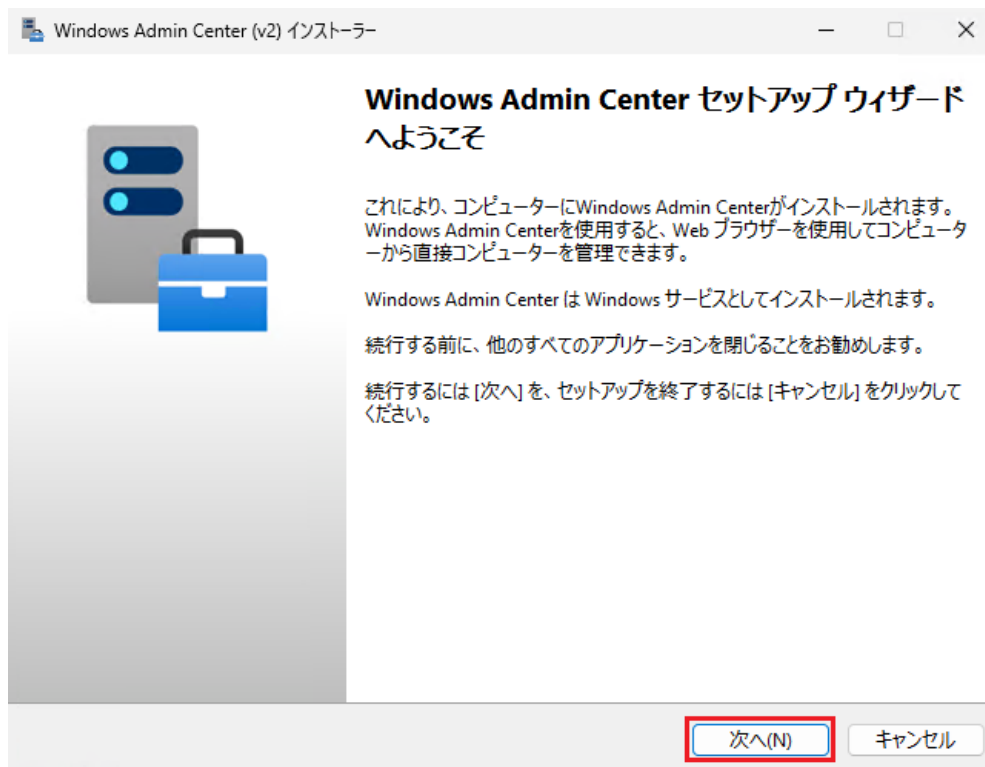
7. 正しくインポートされたかは、証明書スナップインを開いて確認することができます。証明書＞信頼されたルート証明書機関＞証明書を開き、Windows Admin Center の証明書「WindowsAdminCenterSelfSigned」があることを確認してください。



3.2.4 証明書の更新

証明書の期限切れなどにより更新が必要な場合は、以下の手順を実行します。

1. Windows Admin Center がインストールされているサーバー上で、
同じバージョンの Windows Admin Center のインストーラーを起動します。
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「これらの条項に同意し、プライバシーに関する声明を理解します(A)」を選択し、「次へ」をクリックします。

Windows Admin Center (v2) インストーラー

ライセンス条項とプライバシーに関する声明
続行する前に以下の重要な情報をお読みください。

Windows Admin Centerおよび Microsoft のプライバシーに関する声明に関する次のライセンス条項をお読みください。インストールを続行する前に、これらの条項に同意する必要があります。

ライセンス条項を表示する <https://aka.ms/wac-product-ga-eula>
プライバシーに関する声明の表示場所 <https://aka.ms/privacy>

☒ これらの条項に同意し、プライバシーに関する声明を理解します(A)
☐ これらの条項に同意しません(D)

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

4. 「簡単セットアップ」を選択している状態で「次へ」をクリックします。

Windows Admin Center (v2) インストーラー

インストールモードの選択
新しい Windows Admin Center をどのようにセットアップしますか?

高速セットアップでは、オペレーティング システムに基づいて、ネットワーク アクセスとポートの選択が決定されます。Windows Server オペレーティング システムは、外部ポート 443 を使用してリモート アクセス用に構成されます。Windows クライアント オペレーティング システムは、ポート 6600 を使用してローカル アクセス用に構成されます。リモート セットアップで外部ポートへのアクセスを開くファイアウォール規則が設定されています。

カスタム セットアップでは、ログイン認証モード、ホスト アクセス ネットワーク名、ネットワーク ポート、証明書の種類と拇印、エンドポイントの FQDN、信頼されたホスト モード、および WINRM over HTTPs など、すべてのオプションを選択できます。

オプションを選択してください:

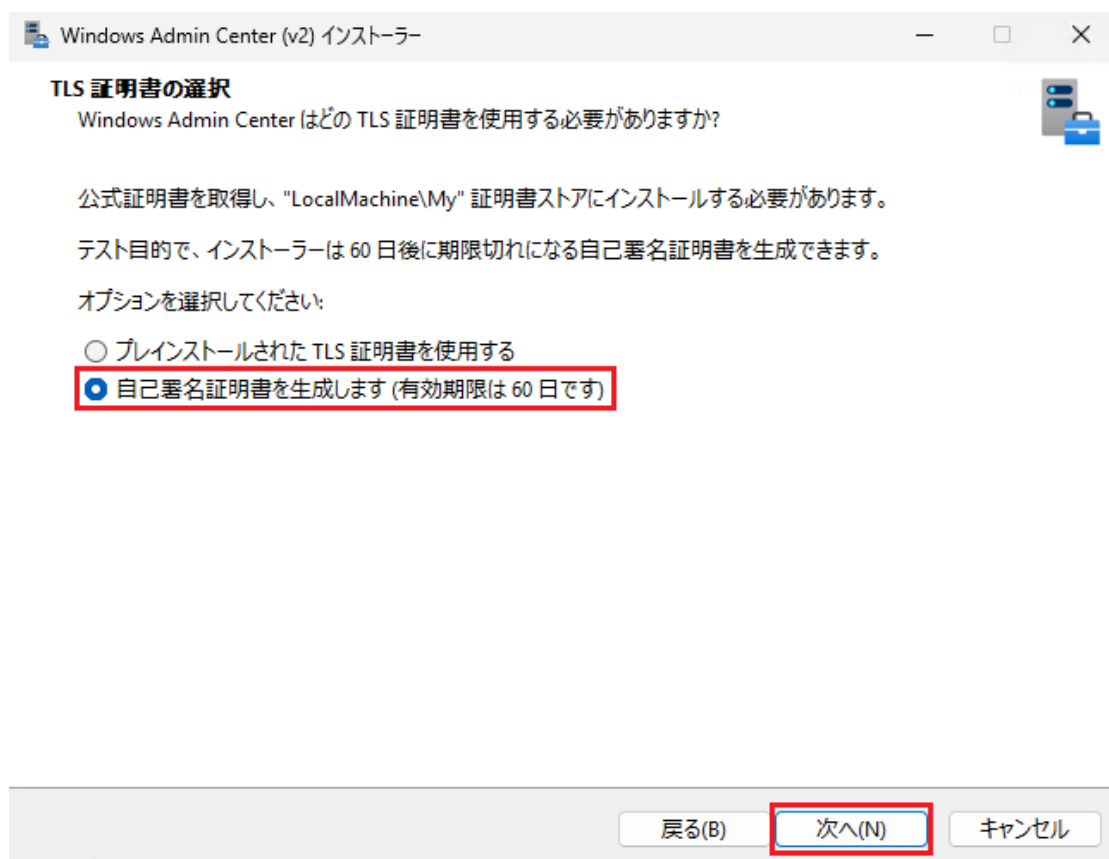
☒ **簡単セットアップ**
☐ カスタム セットアップ

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

5. 使用する証明書を選択し「次へ」をクリックします。

5-1. 自己署名 SSL 証明書を使用する場合

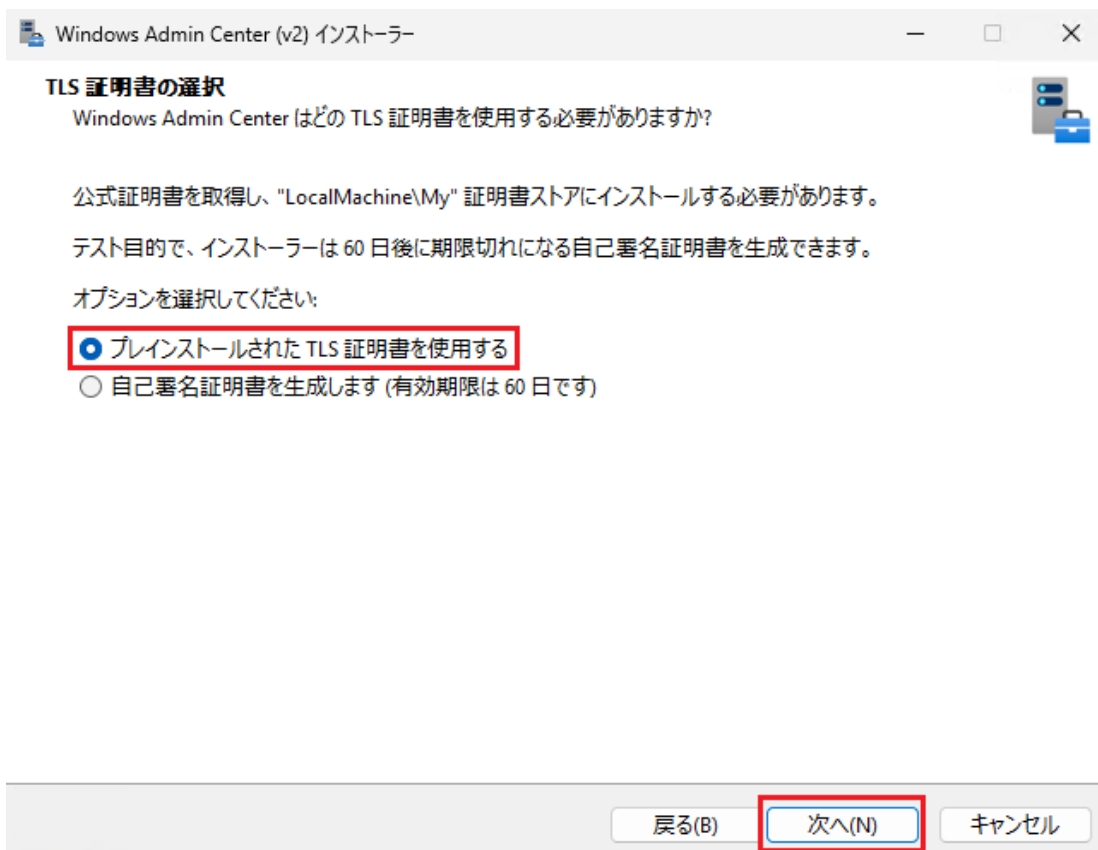
- ① 「自己署名証明書を生成します（有効期限は 60 日です）」を選択し「次へ」をクリックします。



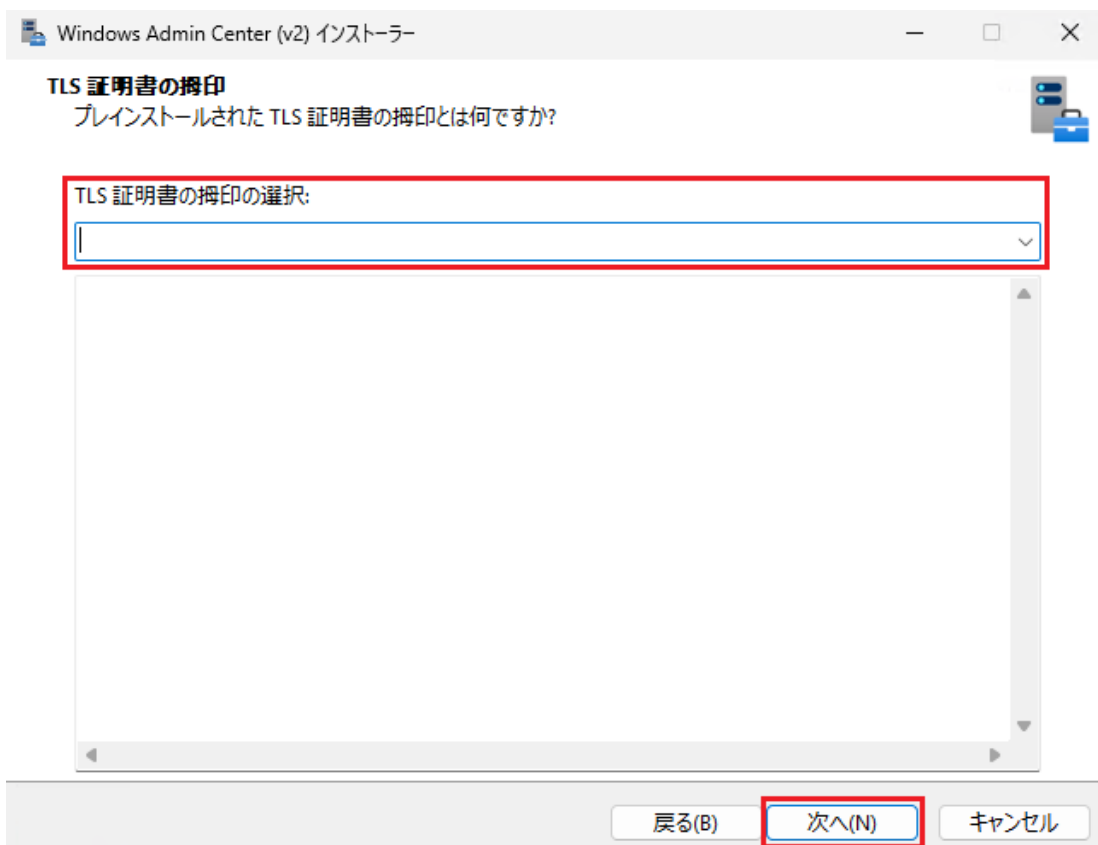
正規の証明書が準備されている場合は、自己署名 SSL 証明書を選択せずにそちらを選択してください。

5-2. あらかじめ用意した正規の証明書を使用する場合

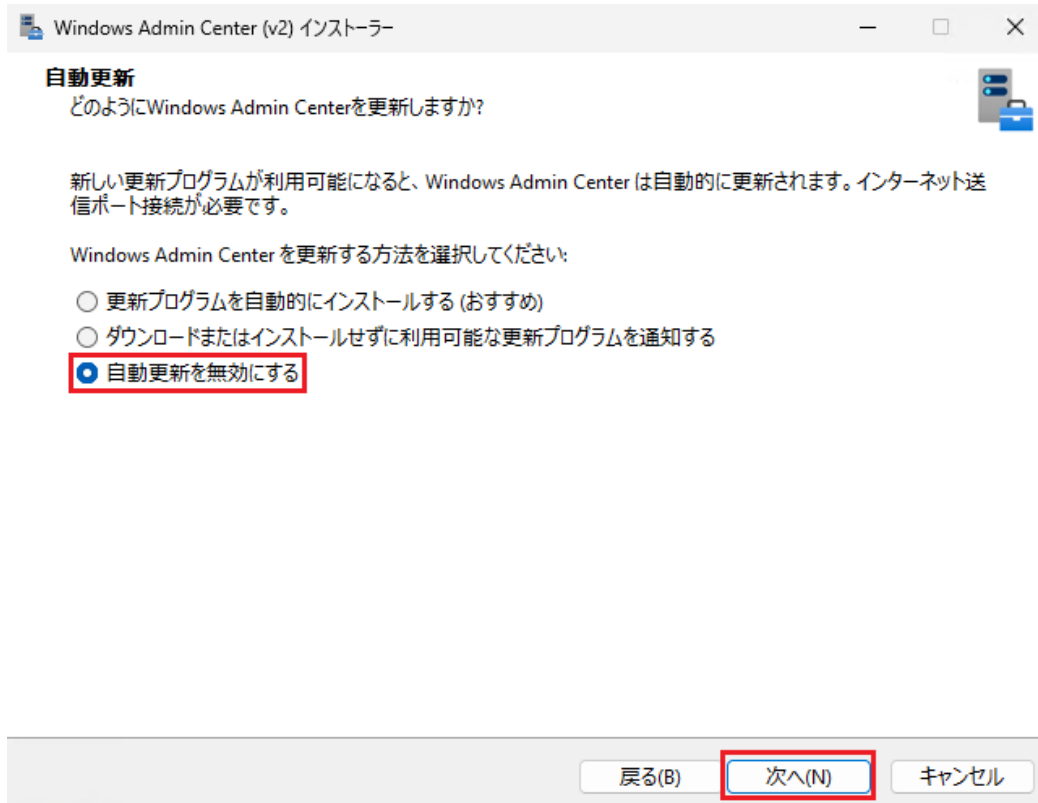
- ① 「プレインストールされた TLS 証明書を使用する」を選択し「次へ」をクリックします。



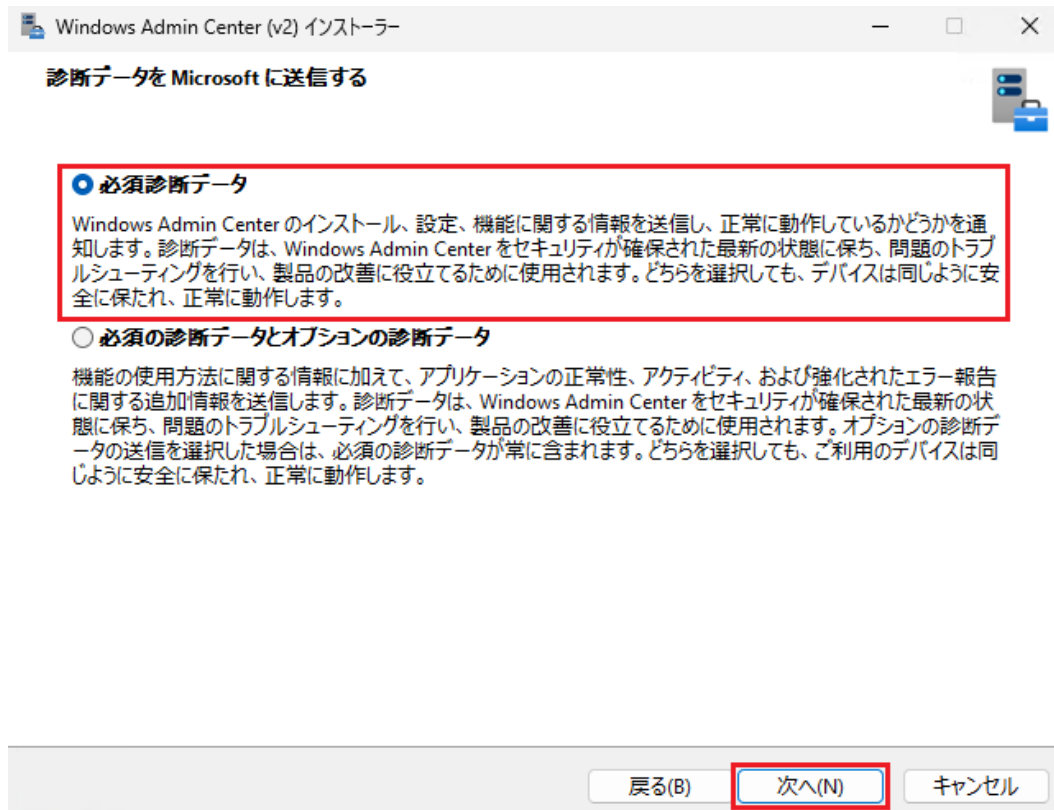
- ② 使用する証明書の拇印を入力し「次へ」をクリックします。



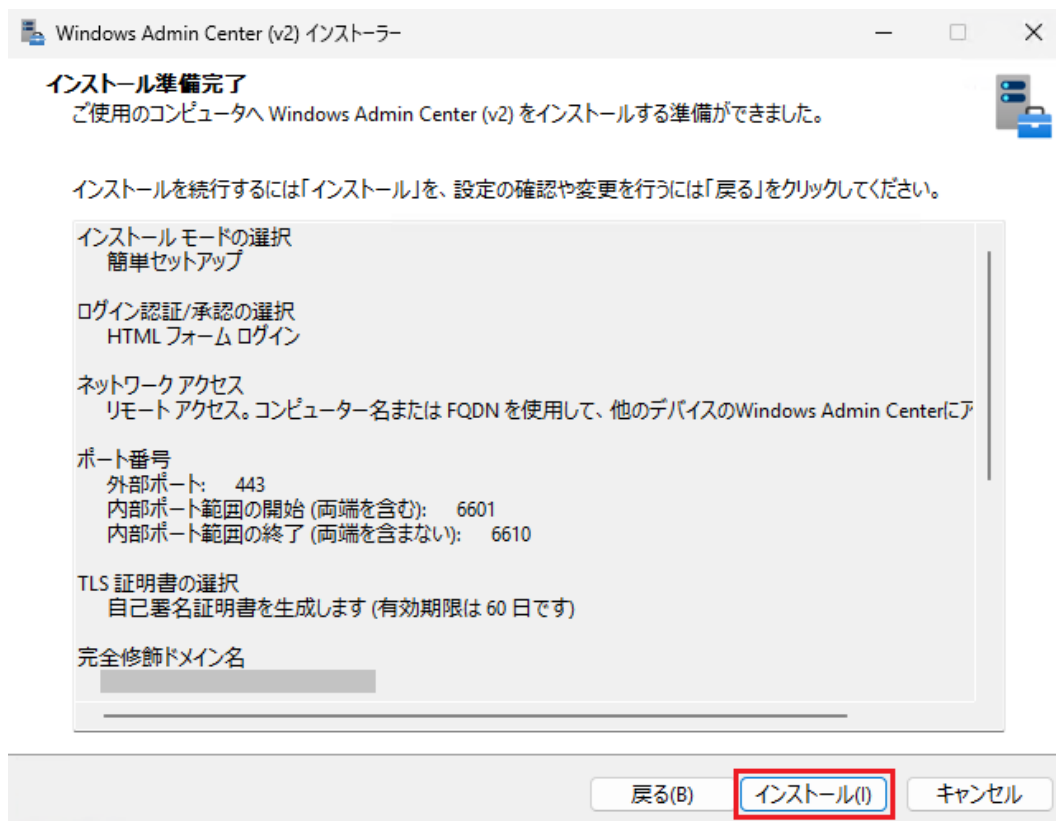
6. 「自動更新を無効にする」を選択し「次へ」をクリックします。



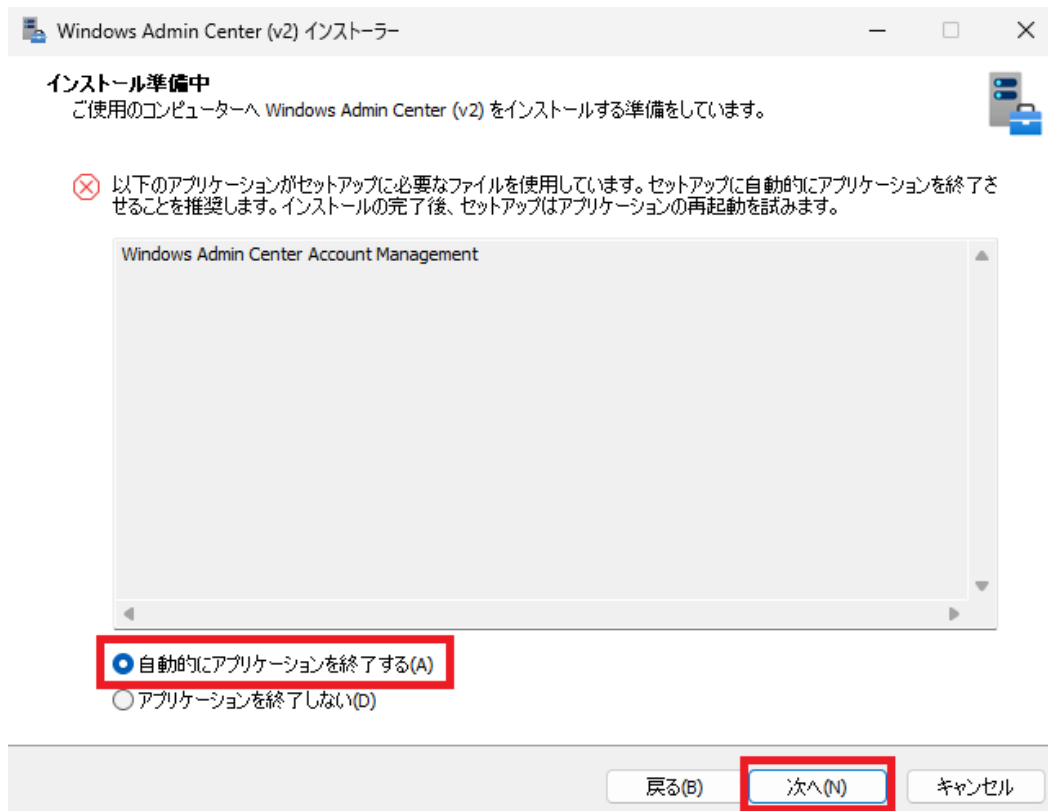
7. 診断データを Microsoft に送信する画面が表示されたら、「必須の診断データ」、または「必須の診断データとオプションの診断データ」のどちらかを選んで、「次へ」をクリックします。



8. 各設定内容を確認し「インストール(I)」をクリックします。

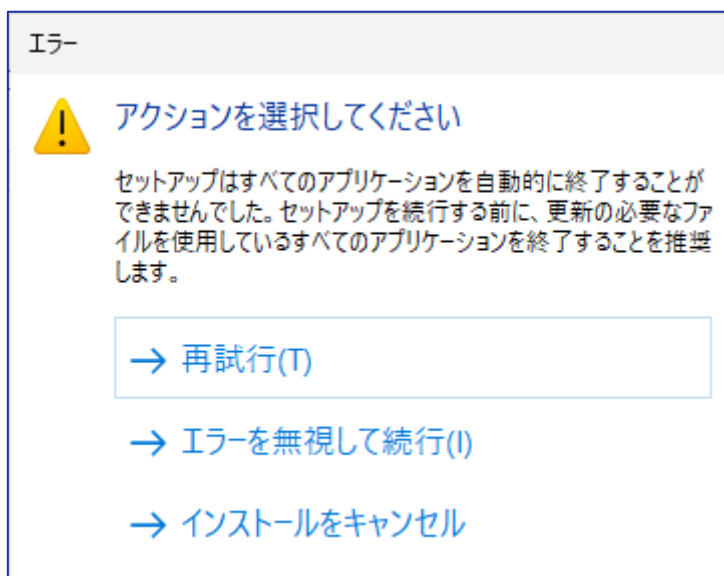


9. セットアップに自動的にアプリケーションを終了させることを推奨する内容の画面が表示された場合は、「自動的にアプリケーションを終了する(A)」を選択し「次へ」をクリックします。





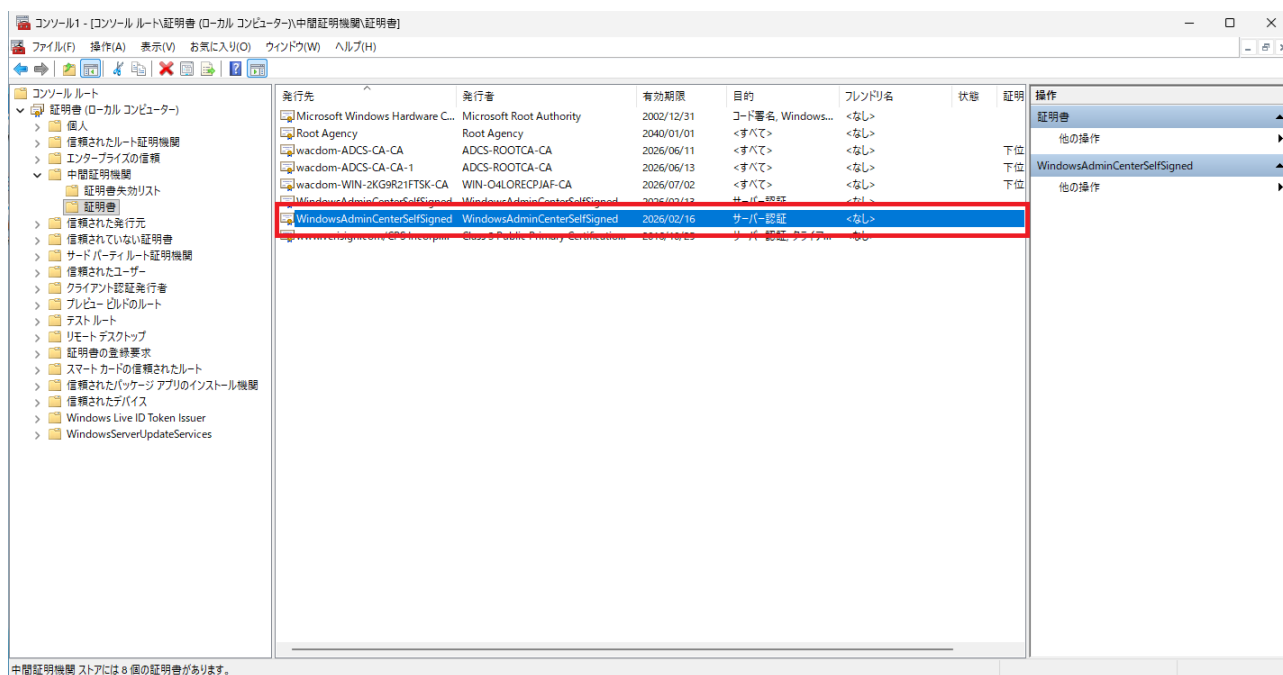
インストール中に、以下のようなエラーダイアログが表示される場合は、「再試行(T)」を選択してください。



- 1 0. 「Windows Admin Center (v2) セットアップウィザードの完了」と表示されたら「完了(F)」をクリックします。



- 1 1. 証明書スナップインを開くと、新たな証明書が作成されているのが確認できます。



- 1 2. [3.2.3.1]節に従って、新たに作成された証明書をエクスポートします。

- 1 3. [3.2.3.2]節に従って、証明書をクライアントにインストールします。



証明書のインストール後、Windows Admin Center を開くとプライバシーエラーが表示されることがあります。しばらく待つか、クライアント OS を再起動して再度 Windows Admin Center を開いてください。

3.3 管理用クライアントから Windows Admin Center ゲートウェイサーバーへの接続

管理用クライアントから Windows Admin Center ゲートウェイサーバーへの接続方法を説明します。

3.3.1 Windows Admin Center へアクセス

Windows Admin Center のゲートウェイサーバーには、ゲートウェイユーザーまたはゲートウェイ管理者でアクセスします。

ゲートウェイ管理者は、ゲートウェイユーザーと同じように Windows Admin Center ゲートウェイにアクセスして管理対象サーバーを管理できるほか、Windows Admin Center ゲートウェイサーバーへのアクセス許可や認証の設定を行うことができます。

管理対象サーバーを管理するためには、ゲートウェイユーザーまたはゲートウェイ管理者であるだけでなく、管理対象サーバーの管理権限を持っている必要があります。このガイドでは、ドメインの管理者である Administrator アカウントを使って Windows Admin Center へアクセスします。実運用の環境では、以下のサイトを参考に、適切なアクセス権をユーザーに付与して実行してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/manage/windows-admin-center/configure/user-access-control>

1. 管理用クライアントから Edge ブラウザを開き、Windows Admin Center のアドレスを入力します。



Windows Admin Center ゲートウェイサーバー上の Edge ブラウザから Windows Admin Center にアクセスする際、URL に `https://localhost:443` と入力すると「接続がプライベートではありません」と表示されます。URL には `localhost` ではなくサーバー名を入力してください。

2. 認証を求められたら、適切なユーザー名／パスワードを入力します。

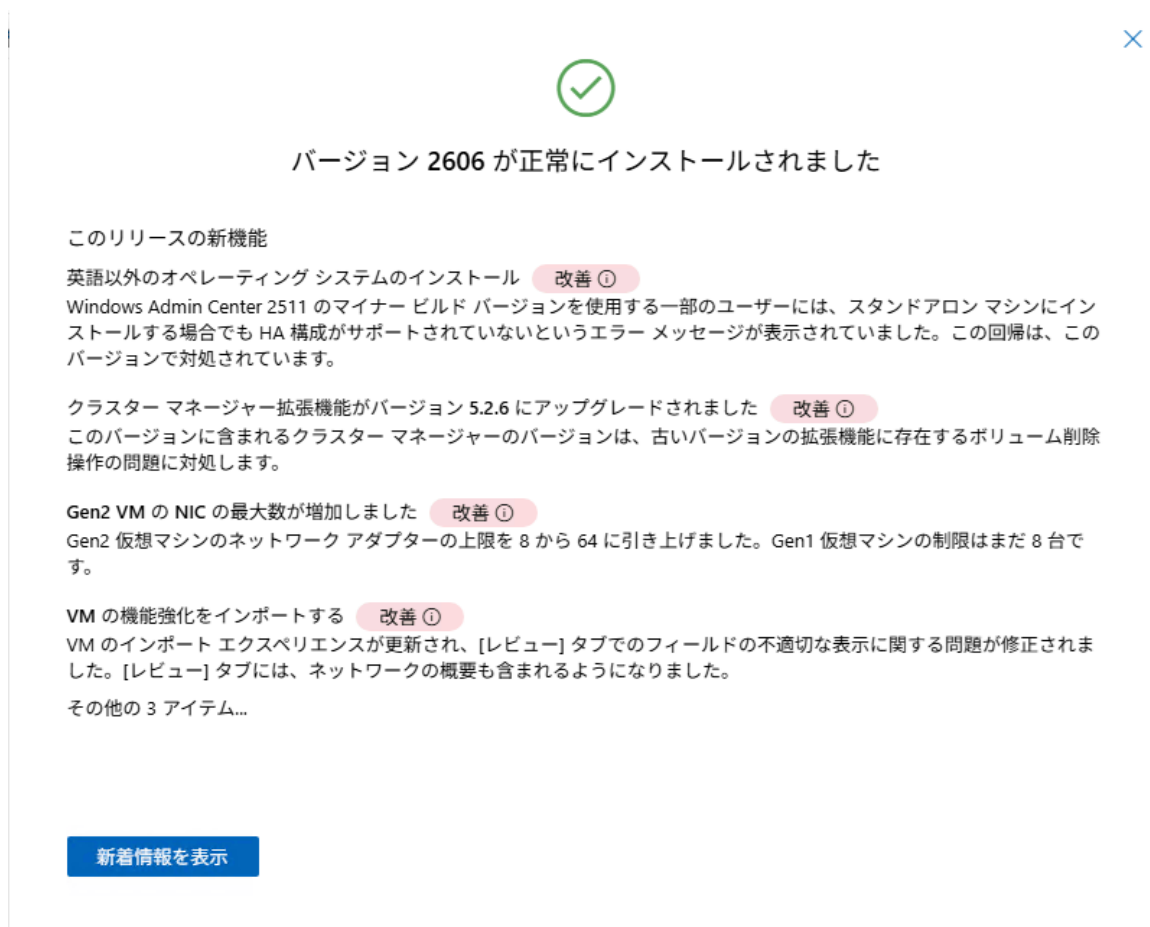


Windows Admin Center にサインイン

ユーザー名

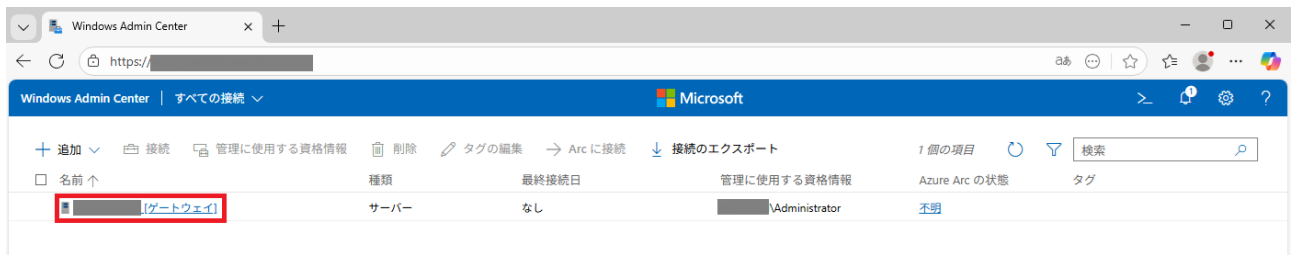
パスワード

3. Windows Admin Center のサイトが開くと同時に、Windows Admin Center のバージョンとその機能を説明したウィンドウが表示されます。内容を確認したら、右上の「X」をクリックして閉じます。

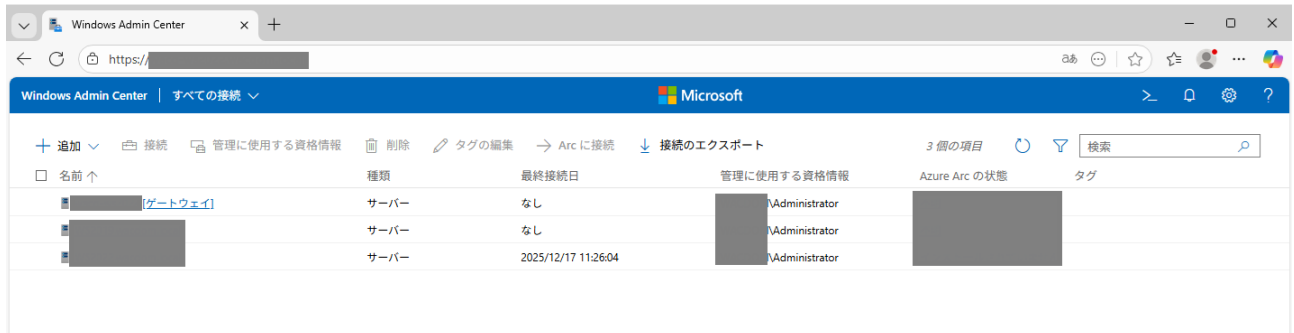


この画面は、Windows Admin Center のバージョン 2606 を初めて開いたときに表示されるウィンドウです。

4. 【新規インストールの場合】Windows Admin Center が開き、Windows Admin Center のゲートウェイサーバーがすでに追加されているのが確認できます。



- 【アップグレードインストールの場合】Windows Admin Center が開き、アップグレード元の接続リストが引き継がれているのが確認できます。



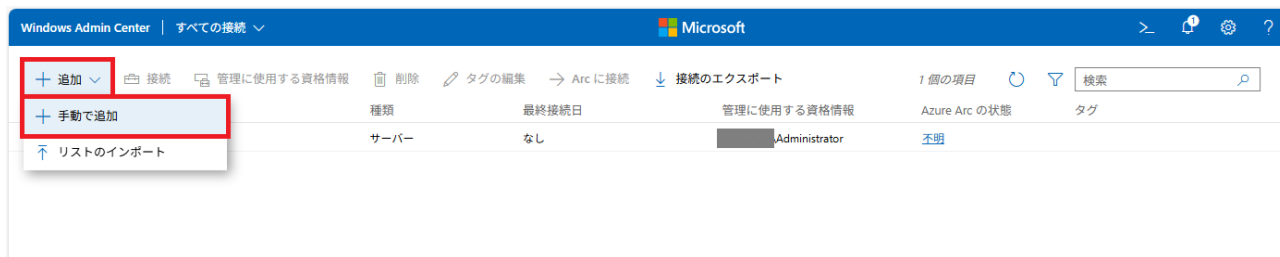
3.4 管理対象システムの追加

管理対象のサーバーや PC、クラスターを追加します。その種類により追加方法が異なります。以下にそれぞれの追加方法を説明します。

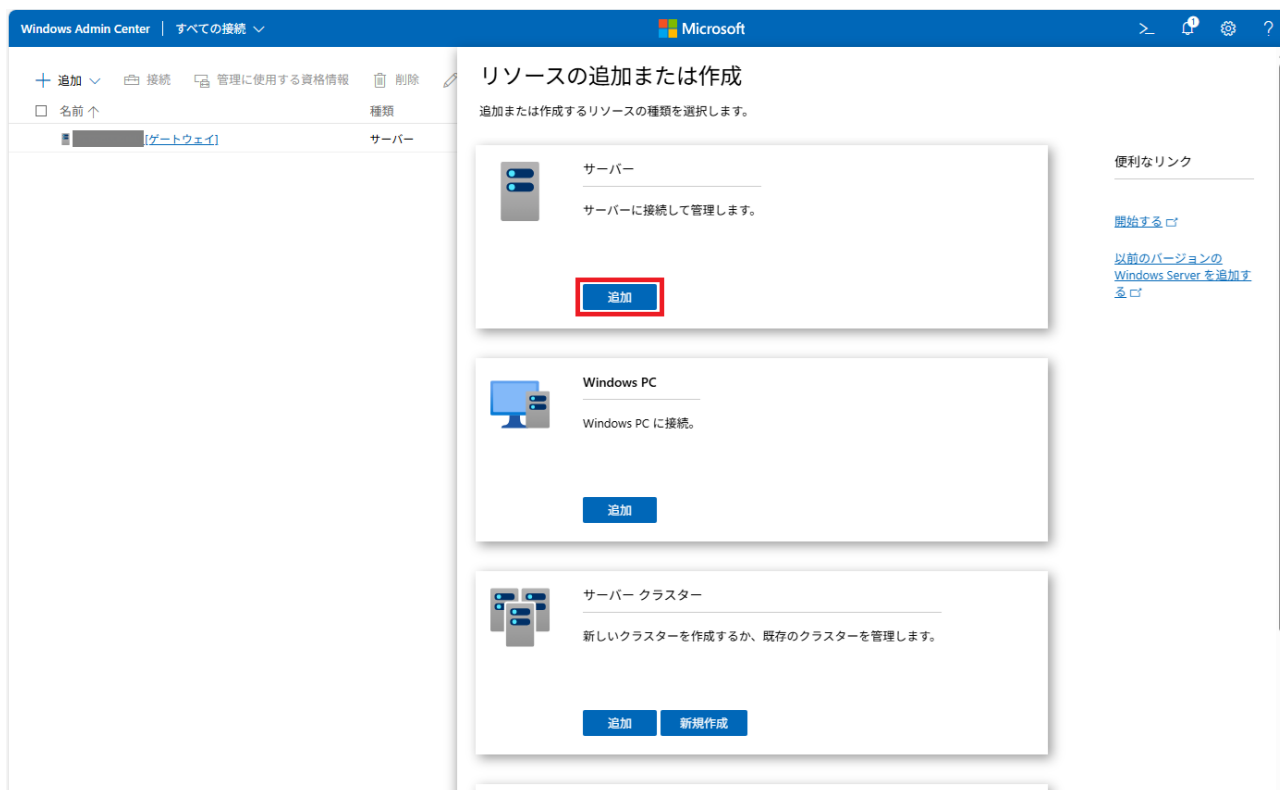
3.4.1 単体サーバー

単体サーバーの追加方法を説明します。

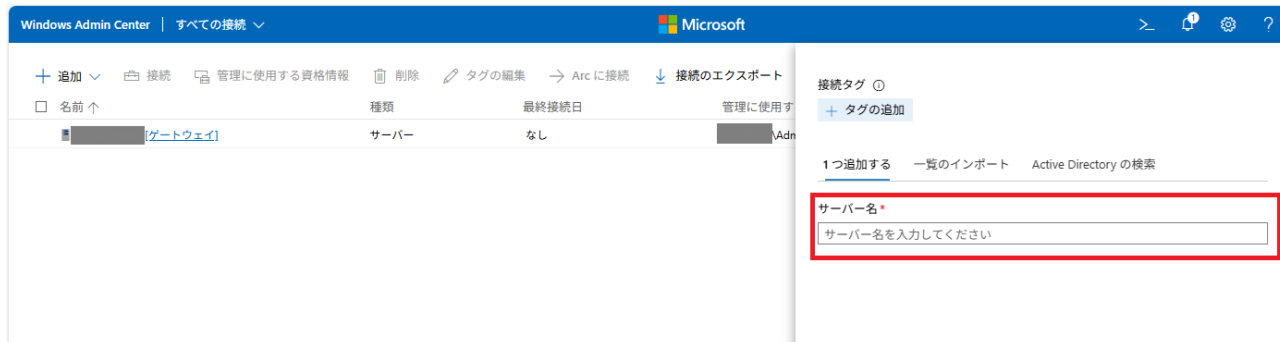
1. 「+追加」→「+手動で追加」の順にクリックします。



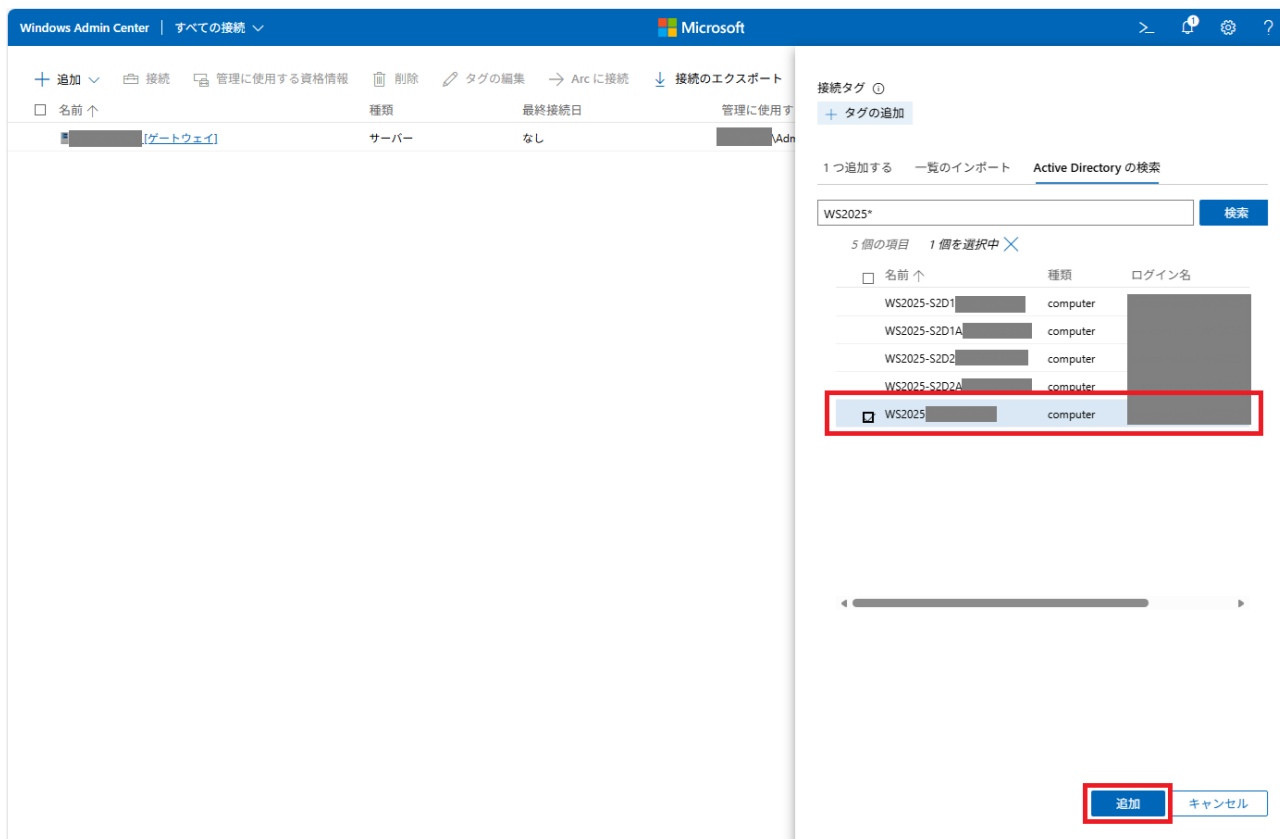
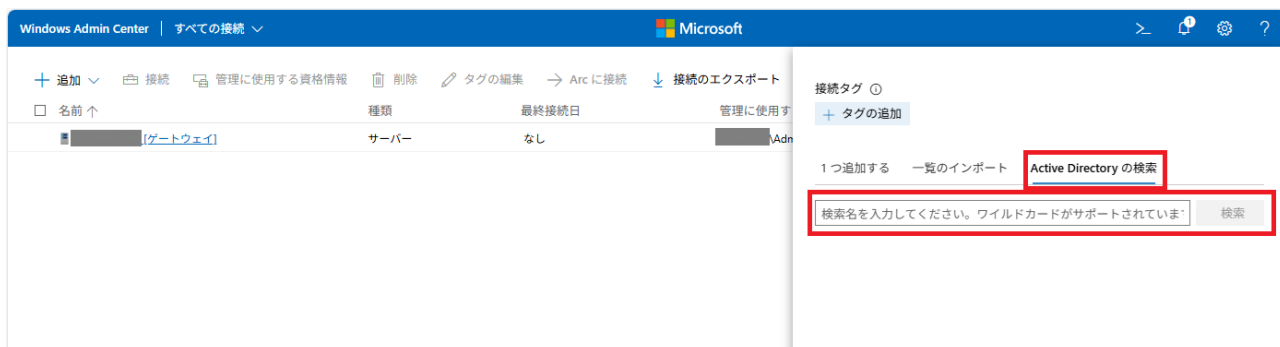
2. 「リソースの追加または作成」で、「サーバー」タイルにある、「追加」を選択します。



3. サーバー名を入力します。



または「Active Directory の検索」をクリックし、サーバー名の一部とワイルドカード (*) で検索し、検索結果から追加するサーバーを選択します。



4. 資格情報を求められたら、適切なユーザー名/パスワードを入力し、「資格情報を含めて追加」をクリックします。

Windows Admin Center | すべての接続

接続タグ

1つ追加する 一覧のインポート Active Directory の検索

サーバー名 *

資格情報が必要です
へのアクセスが拒否されました。接続リストに追加することはできませんが、サーバーに接続するには管理者の資格情報を提供する必要があります。

☐ この接続で マイ Windows アカウント を使用する

☒ この接続では別のアカウントを使用する

ユーザー名 *

Administrator

パスワード *

Windows アカウントを使用してシングル サインインするには、Kerberos の制約付き委任のセットアップが必要になる場合があります。

資格情報を含めて追加 追加 キャンセル

5. サーバーが検出されたら、「追加」をクリックします。

Windows Admin Center | すべての接続

接続タグ

1つ追加する 一覧のインポート Active Directory の検索

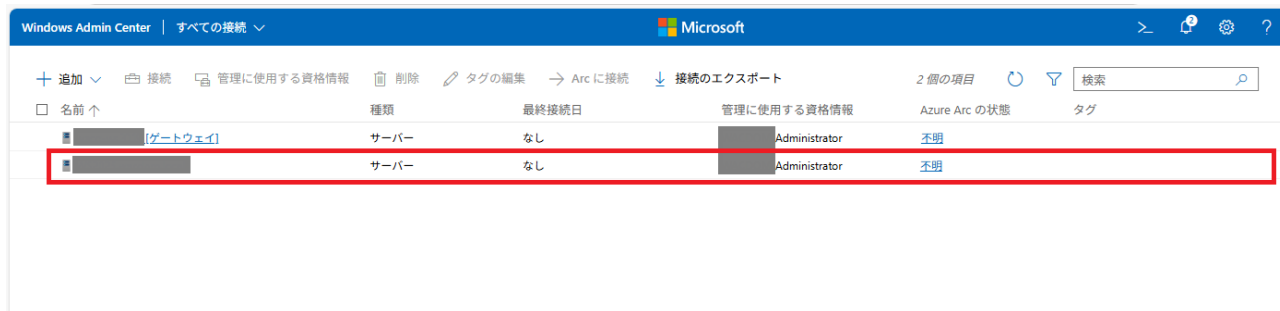
サーバー名 *

が検出されました

☐ サーバー接続名の選択

追加 キャンセル

6. 追加されたことを確認します。



名前 ↑	種類	最終接続日	管理に使用する資格情報	Azure Arc の状態	タグ
[ゲートウェイ]	サーバー	なし	Administrator	不明	
	サーバー	なし	Administrator	不明	

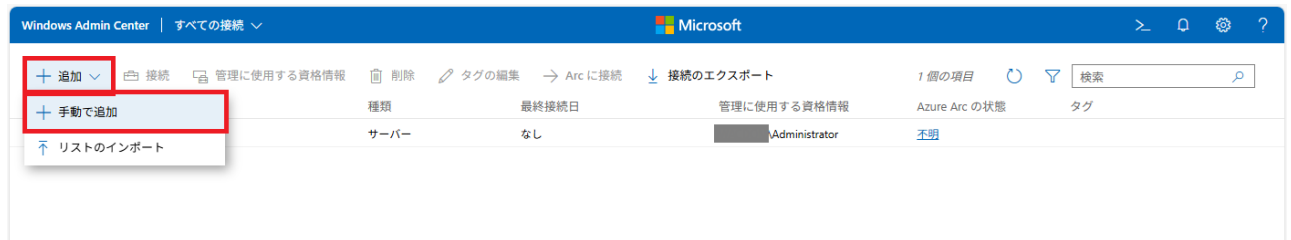
3.4.2 サーバー クラスター

サーバー クラスターの追加方法を説明します。フェールオーバークラスターだけでなくハイパーコンバージドクラスターも追加可能です。

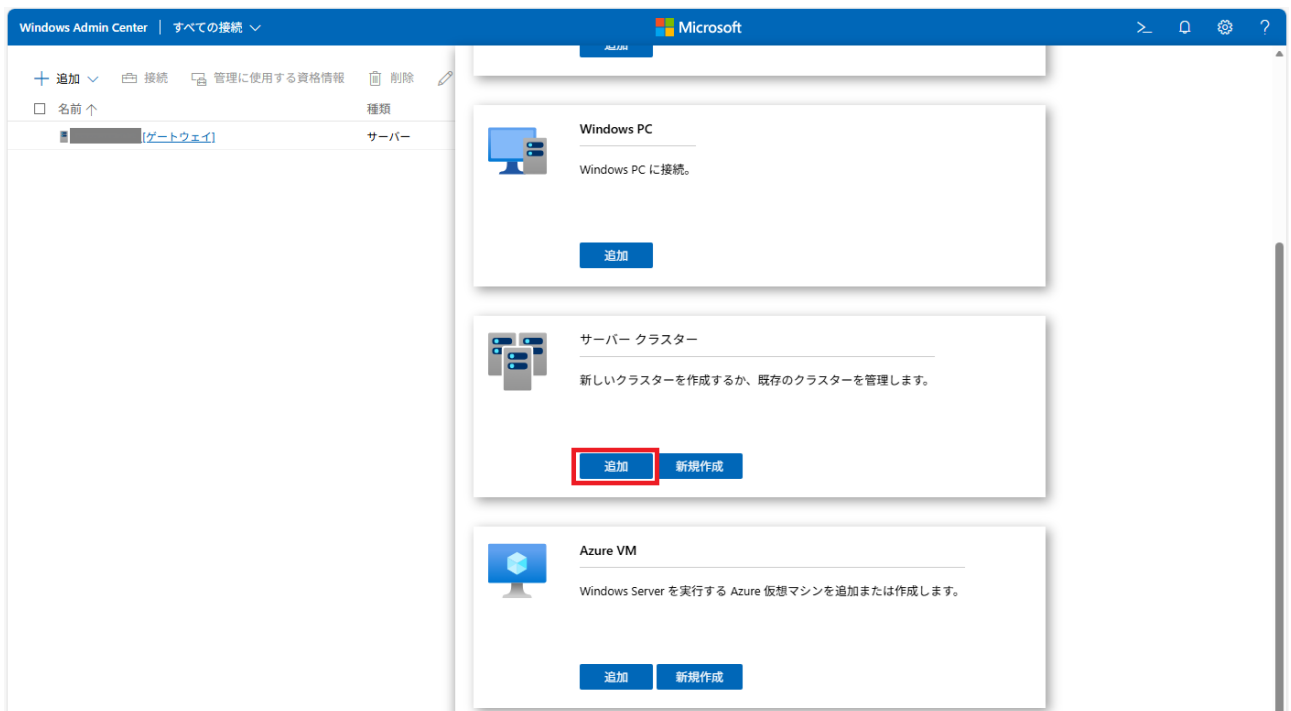


Windows Server 2016 のハイパーコンバージドクラスターの場合、追加前に「3.1.2 Windows Server 2016 HCI クラスターの準備」が完了しているかを確認してください。

1. 「+追加」→「+手動で追加」の順にクリックします。



2. 「サーバー クラスター」タイルにある、「追加」を選択します。



3. クラスター名を入力します。

Windows Admin Center | すべての接続

Microsoft

+ 追加 | 接続 | 管理に使用する資格情報 | 削除 | タグの編集 | → Arc に接続 | 接続のエクスポート

名前 ↑ | 種類 | 最終接続日 | 管理に使用する

名前 ↑	種類	最終接続日	管理に使用する
[ゲートウェイ]	サーバー	なし	

接続タグ ①

+ タグの追加

クラスターの追加 | 一覧のインポート

クラスター名 *

クラスター名を入力してください

4. 資格情報を求められたら、適切なユーザー名/パスワードを入力し、「アカウントに接続」をクリックします。

Windows Admin Center | すべての接続

Microsoft

+ 追加 | 接続 | 管理に使用する資格情報 | 削除 | タグの編集 | → Arc に接続 | 接続のエクスポート

名前 ↑ | 種類 | 最終接続日 | 管理に使用する

名前 ↑	種類	最終接続日	管理に使用する
[ゲートウェイ]	サーバー	なし	

接続タグ ①

+ タグの追加

クラスターの追加 | 一覧のインポート

クラスター名 *

へのアクセスが拒否されました。その場合でも接続リストに追加することはできますが、クラスターに接続するには管理者の資格情報を提供する必要があります。

☐ この接続で マイ Windows アカウント を使用する

☒ この接続では別のアカウントを使用する

ユーザー名 *

Administrator

パスワード *

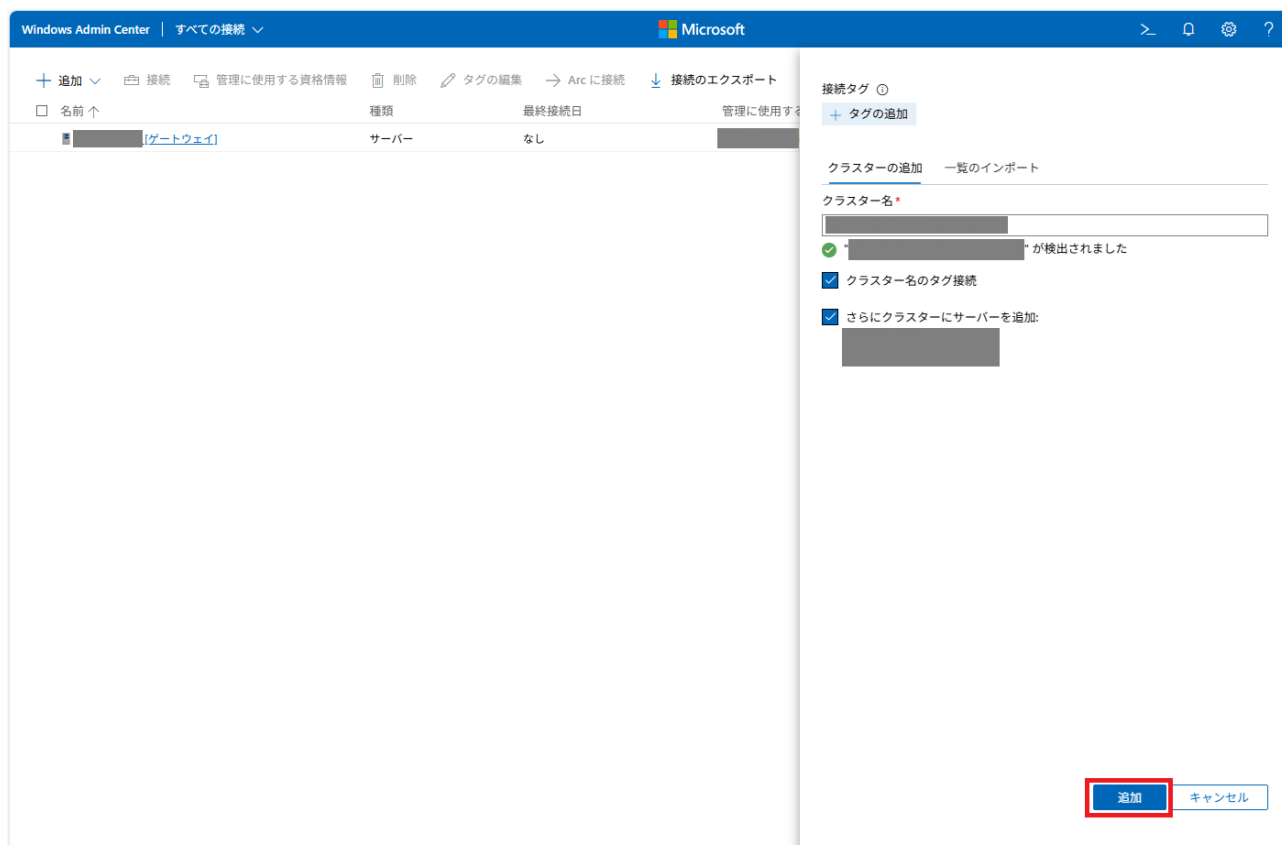
⚠ Windows アカウントを使用してシングル サインインするには、Kerberos の制約付き委任のセットアップが必要になる場合があります。

アカウントに接続 | 追加 | キャンセル

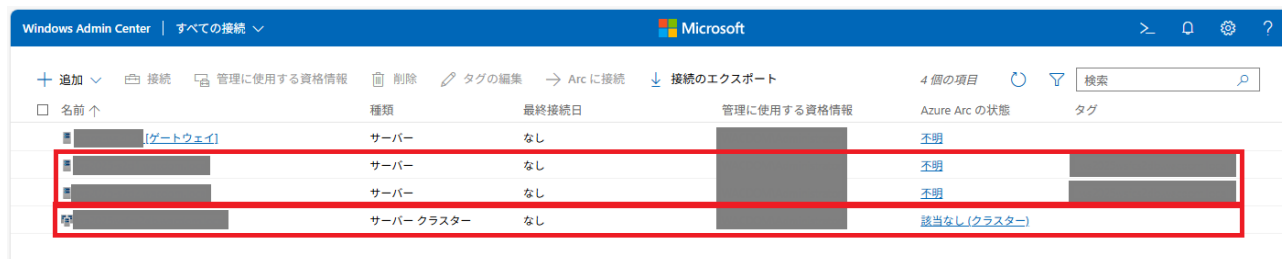


単体サーバーや、Windows PC の「資格情報を含めて追加」ボタンとは名前が異なり、クラスターでは「アカウントに接続」となっています。

5. クラスターが検出されると、クラスターを構成するサーバーも同時に検出されます。それらも追加したい場合は、「さらにクラスターにサーバーを追加」にチェックを入れ、「追加」をクリックします。



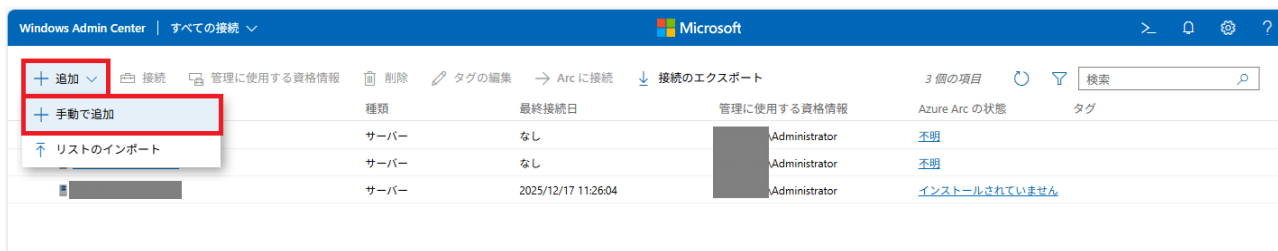
6. 追加されたことを確認します。



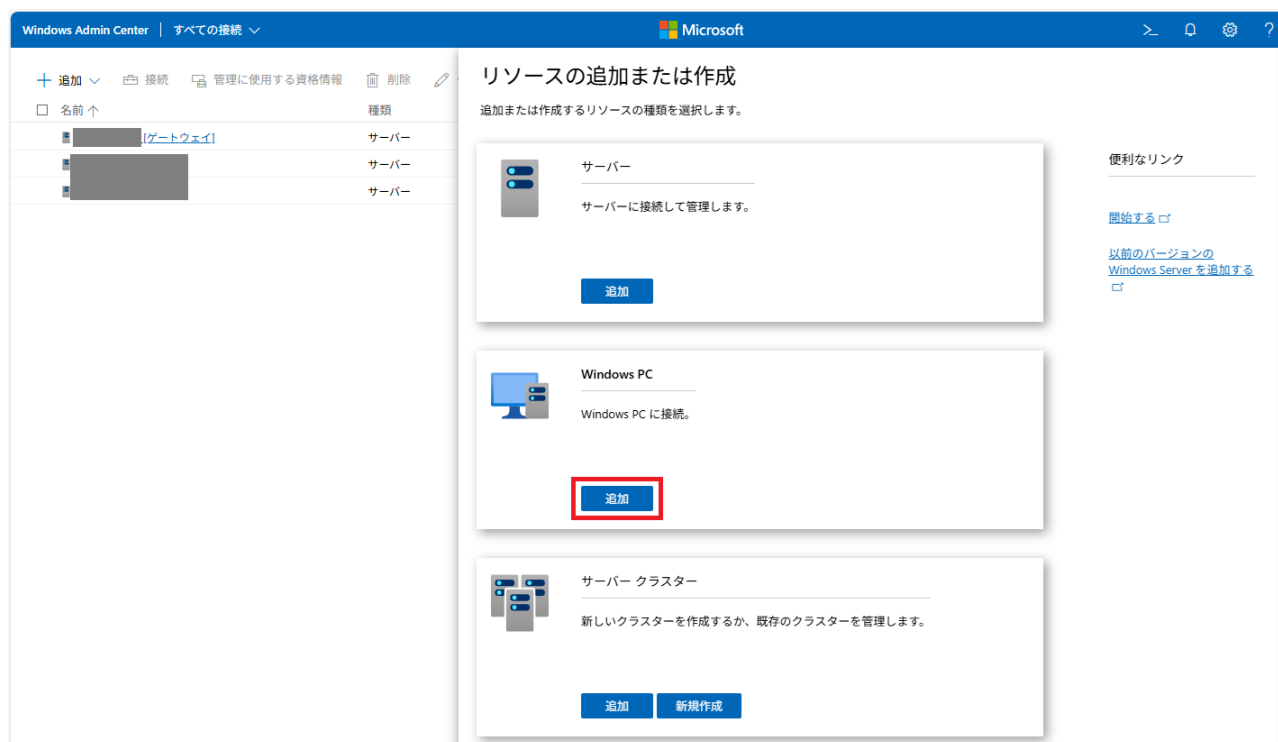
3.4.3 Windows PC

Windows PC の追加方法を説明します。

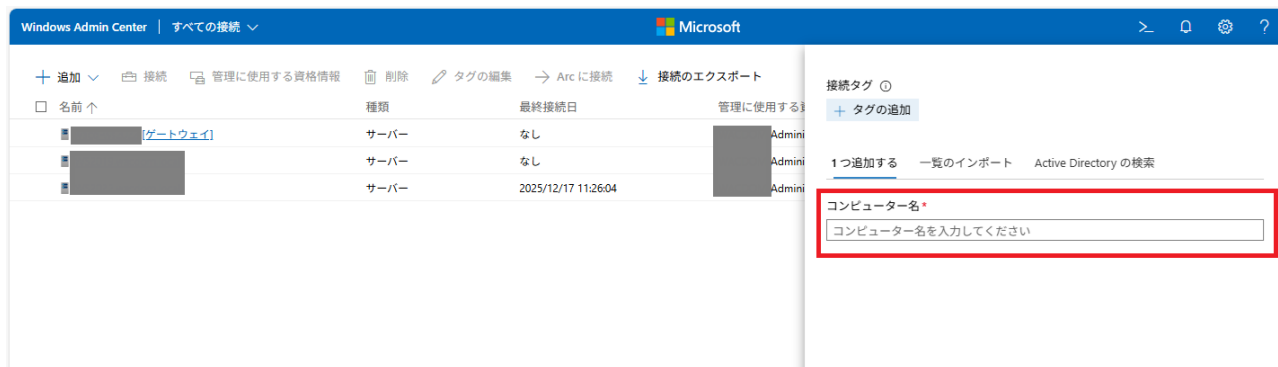
1. 「+追加」→「+手動で追加」の順にクリックします。



2. 「リソースの追加」で、「Windows PC」タイルにある、「追加」を選択します。



3. コンピューター名を入力します。



Windows Admin Center | すべての接続

Microsoft

+ 追加 | 接続 | 管理に使用する資格情報 | 削除 | タグの編集 | Arc に接続 | 接続のエクスポート

名前 | 種類 | 最終接続日 | 管理に使用する資格情報

名前	種類	最終接続日	管理に使用する資格情報
ゲートウェイ	サーバー	なし	Administrator
	サーバー	なし	Administrator
	サーバー	2025/12/17 11:26:04	Administrator

接続タグ

+ タグの追加

1つ追加する | 一覧のインポート | Active Directory の検索

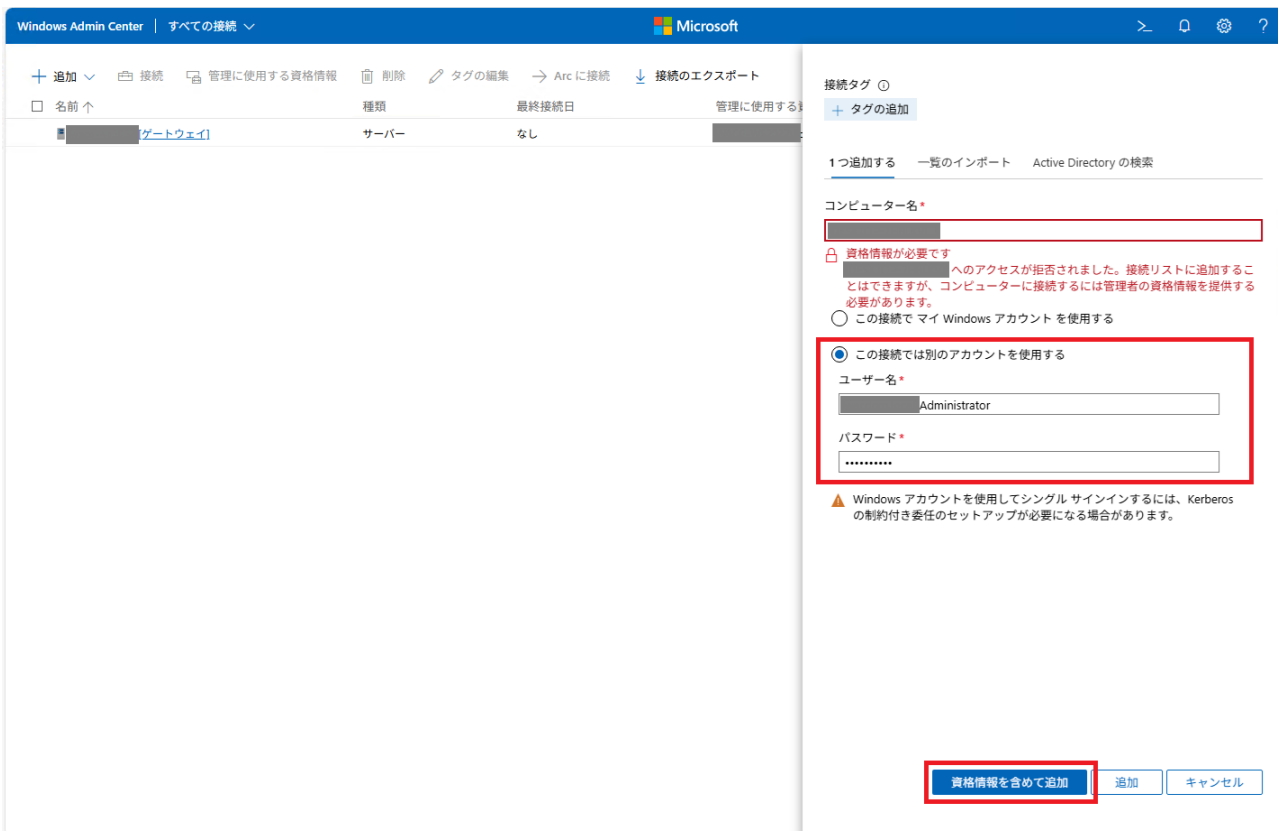
コンピューター名*

コンピューター名を入力してください



サーバー追加の場合と同様に、追加する Windows PC を Active Directory から検索することもできます。

4. 資格情報を求められたら、適切なユーザー名/パスワードを入力し、「資格情報を含めて追加」をクリックします。



Windows Admin Center | すべての接続

Microsoft

+ 追加 | 接続 | 管理に使用する資格情報 | 削除 | タグの編集 | Arc に接続 | 接続のエクスポート

名前 | 種類 | 最終接続日 | 管理に使用する資格情報

名前	種類	最終接続日	管理に使用する資格情報
ゲートウェイ	サーバー	なし	Administrator

接続タグ

+ タグの追加

1つ追加する | 一覧のインポート | Active Directory の検索

コンピューター名*

資格情報が必要です

この接続では別のアカウントを使用する

この接続では別のアカウントを使用する

ユーザー名*

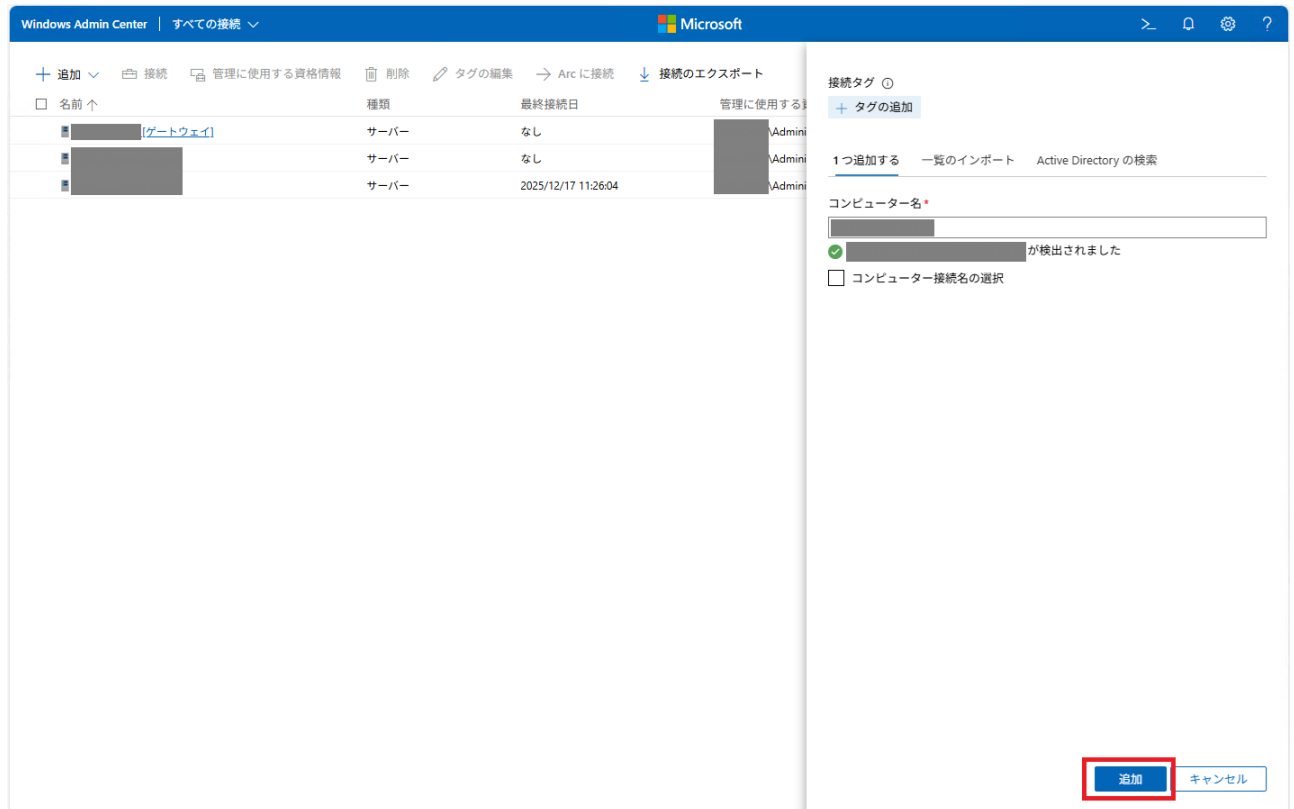
Administrator

パスワード*

Windows アカウントを使用してシングル サインインするには、Kerberos の制約付き委任のセットアップが必要になる場合があります。

資格情報を含めて追加 | 追加 | キャンセル

5. Windows PC が検出されたら、「追加」をクリックします。



6. Windows PC が追加されたことを確認します。



3.5 管理対象サーバー／クラスター／Windows PC への接続

以下では、Windows Admin Center で管理対象のサーバー／クラスター／Windows PC の管理画面を開く（接続する）手順を説明します。

1. 接続リストから接続したいサーバー／クラスター／Windows PC の名前をクリックします。
2. 資格情報の入力を求められたら、適切なユーザー名／パスワードを入力し、「続行」をクリックします。

Windows Admin Center | すべての接続

資格情報を指定してください

この接続に使用する管理者アカウントを指定してください。

☐ この接続で マイ Windows アカウント を使用する

☒ この接続では別のアカウントを使用する

ユーザー名 *

Administrator

パスワード *

☐ これらの資格情報をすべての接続で使用します。

Windows アカウントを使用してシングル サインインするには、Kerberos の制約付き委任のセットアップが必要になる場合があります。

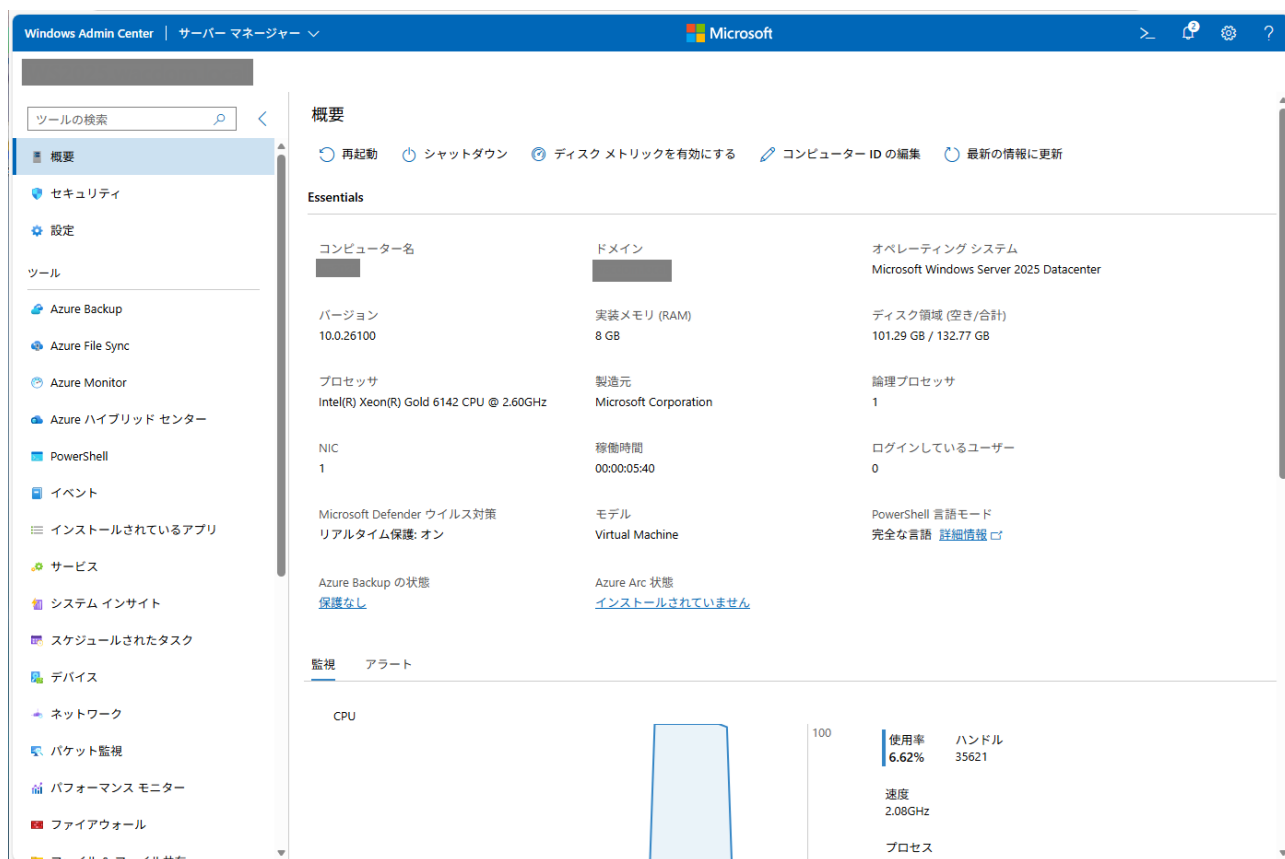
続行 キャンセル



重要

クラスターに接続する場合、資格情報の入力時に「これらの資格情報をすべての接続で使用します。」にチェックを入れてください。チェックを入れない場合、いくつかの管理ツールがエラーで使用できなくなります。

3. 接続に成功すると、個々のサーバー／クラスター／Windows PC の管理画面が開きます。



3.6 シングルサインオンの設定（オプション）

管理対象システムにシングルサインオンで接続するには、Kerberos のリソーススペースの制約付き委任を設定します。



Windows Admin Center ゲートウェイサーバーと管理対象システムが AD ドメインに参加している必要があります。

ドメインコントローラーは Windows Server 2012 機能レベル以上である必要があります。

3.6.1 設定方法

以下の PowerShell コマンドレットをドメインコントローラー上で実行して設定します。

```
> $gatewayObj = Get-ADComputer -Identity "GW"  
> $nodeObj = Get-ADComputer -Identity "ManagedNode"  
> Set-ADComputer -Identity $nodeObj -PrincipalsAllowedToDelegateToAccount $gatewayObj
```

※ この例では、「GW」が Windows Admin Center ゲートウェイサーバー名、「ManagedNode」が管理対象のサーバー名です。

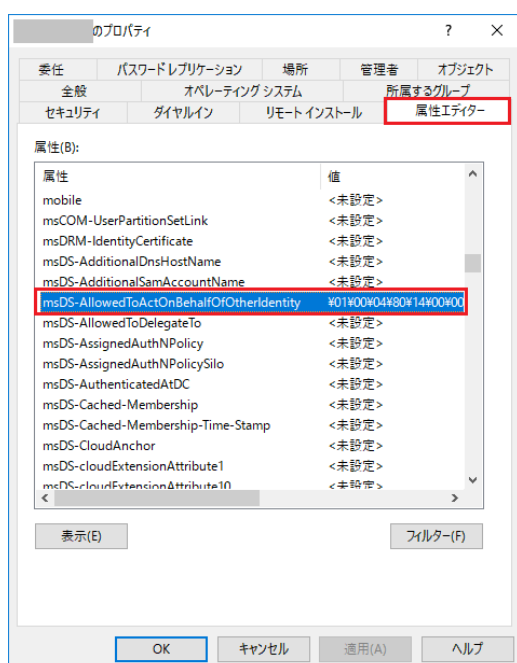
3.6.2 確認方法

以下の PowerShell コマンドレットで確認します。

```
> $nodeObj = Get-ADComputer -Identity "ManagedNode"  
> $result = Get-ADComputer -Identity $nodeObj -Properties msDS-AllowedToActOnBehalfOfOtherIdentity  
> $result['msDS-AllowedToActOnBehalfOfOtherIdentity']
```

Path	Owner	Access
-----	-----	-----
BUILTIN¥Administrators <Domain Name>¥GW\$ Allow		

Active Directory ユーザーとコンピューターで確認することもできます。Computers 配下の管理対象サーバーを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティが表示されたら「属性エディター」タブをクリックします。「msDS-AllowedToActOnBehalfOfOtherIdentity」値を確認してください。





「属性エディター」タブを表示するには、拡張機能を有効にする必要があります。Active Directory ユーザーとコンピューターの「表示」メニューで「拡張機能」を選択し有効化します。

4 付録

4.1 関連マニュアルのリンク

Microsoft の Windows Admin Center 関連サイト

- Windows Admin Center の概要 | Microsoft Learn
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/manage/windows-admin-center/overview>
- Windows Admin Center Overview | Microsoft Learn (※上記ページの英語版)
<https://learn.microsoft.com/en-us/windows-server/manage/windows-admin-center/overview>

改版履歴

版数	発行年月	改版内容
1.0	2019/01	初版
1.1	2019/02	3.1.4 節を追加
1.2	2019/03	3.5 節を追加
1.3	2019/04	バージョン 1904 に対応
1.4	2019/04	略称を削除
1.5	2019/11	バージョン 1910 に対応
1.6	2020/04	バージョン 1910.2 に対応
1.7	2020/08	バージョン 2007 に対応
1.8	2020/09	バージョン 2009 に対応。3.2.3.3 節を追加。
1.9	2021/03	バージョン 2103 に対応
1.10	2021/06	バージョン 2103.2 に対応
1.11	2021/11	バージョン 2110 に対応
1.12	2022/05	バージョン 2110.2 に対応
1.13	2023/01	バージョン 2211 に対応
1.14	2023/07	バージョン 2306 に対応
1.15	2023/12	バージョン 2311 に対応
1.16	2025/09	バージョン 2410 に対応（新規インストール限定対応）
1.17	2025/12	バージョン 2511 に対応
1.18	2026/03	NX7700x シリーズ追記
1.19	2026/07	バージョン 2606 に対応